

教育資金贈与信託に関する調査(2020) 結果報告書

2020年10月



目次

◆ 調査概要	P3
◆ 回答者プロフィール	P6
◆ 調査結果の要約	P10
◆ 調査結果の詳細	P18

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

※「*」は非聴取項目

調査概要

- ◆調査目的 : 教育資金贈与信託のニーズを把握する。
- ◆調査対象 : マクロミルモニタ 孫のいる50~89歳の男女
- ◆調査地域 : 全国
- ◆調査方法 : インターネットリサーチ
- ◆調査時期 : 【事前調査】2020年6月3日(水)~6月8日(月)
【本調査】2020年6月5日(金)~6月8日(月)
- ◆有効回答数 : 2,065サンプル

割付	50代	60代	70代	80代
男性	247	309	282	119
女性	278	350	290	190

- ◆調査実施機関 : 株式会社マクロミル

教育資金贈与信託の説明

■ 教育資金贈与信託

✓ 幼稚園から大学までの教育費は、私立の場合は約2,300万円、公立の場合は約800万円かかり、十分な教育を受けるためには多額の出費が必要になります。



教育費内訳

	単位:万円	
	公立	私立
幼稚園	65	158
小学校	193	959
中学校	146	422
高校	137	290
大学	257	544

- ✓ このような教育費のご負担を和らげるため、お孫さまにご資金をまとめて援助することができるサービスです。
- ✓ 具体的には、将来にわたって必要となる教育資金をお孫さまにまとめて贈与し、お孫さま・親御さまは、教育費が必要となった時に引き出すことができます。
- ✓ このサービスを利用すれば1,500万円までは贈与税が非課税となるため(※2)、まとめてご資金を贈与することにより、お孫さまの将来的な教育計画を立てやすくなるというメリットがあります。
- ✓ また、贈与するご資金が確実に教育費としてご利用されるよう、使い道は教育費に限定しています。

※ 贈与を受けるお孫さまが30歳未満である必要があります。また、年間の贈与金額が110万円以内である場合やその都度贈与する場合、贈与税は非課税となります。

おじいさま・おばあさま



まとめて贈与
(1,500万円まで贈与税非課税)

お孫さま



親御さま

信託銀行等



金銭のお預け

払出しのお申込

教育資金の交付

【平成31年度税制改正での変更内容】

1. 受贈者(お孫さま)の所得要件(1,000万円)の新設
 2. 資金用途の見直し
受贈者(お孫さま)が23歳以上の場合、①学校等に関連する費用(授業料・留学渡航等)②教育訓練の受講に限定
- 等

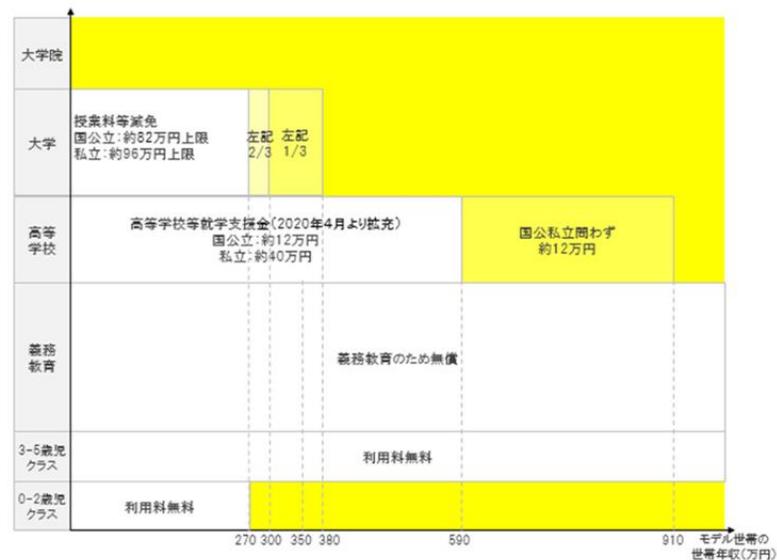
教育無償化説明資料

■ 教育無償化制度について

近年進められてきた教育無償化の概要については、以下の通りです。

対象	制度内容
幼稚園・保育園	0～2歳児クラス:住民税非課税世帯は利用料無料 3～5歳児クラス:全ての子どもたちの利用料無料 (対象施設によって異なる上限金額あり)
高等学校等	年収約910万未満の世帯:国公立問わず、高等学校等就学支援金の支払いによる授業料支援 + 年収約590万未満の世帯:私立の場合、所得に応じ授業料を上限とした支給額を加算
大学・短期大学等	年収約380万未満の世帯:国公立を問わず、大学・短期大学等の授業料・入学金減免、給付型奨学金の支給拡充。

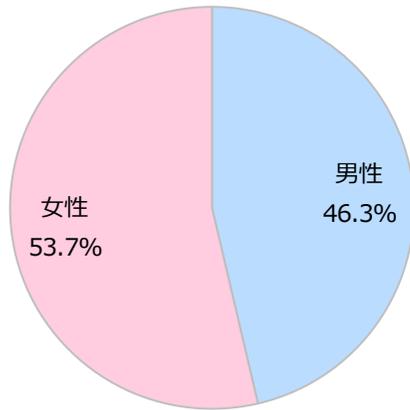
■ 教育資金にかかる支援制度



対象者プロフィール

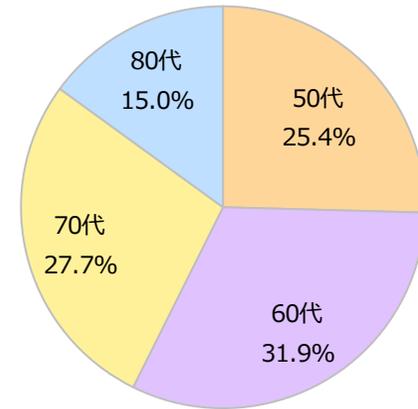
本調査回答者プロフィール

◆ 【属性】性別



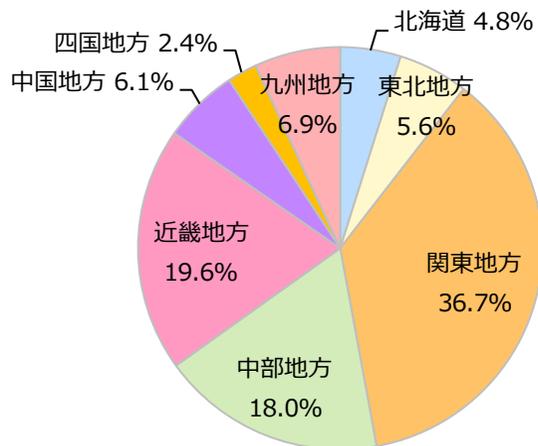
(n=2,065)

◆ 【属性】年齢



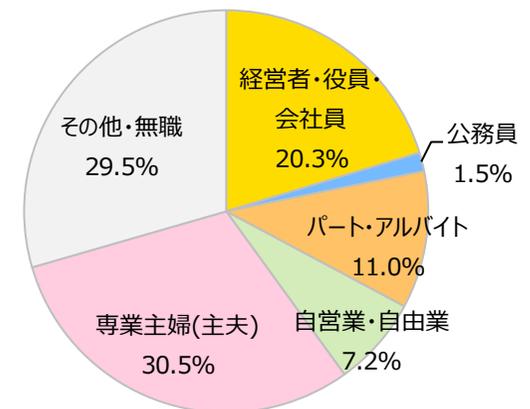
(n=2,065)

◆ 【属性】居住地



(n=2,065)

◆ 【属性】職業

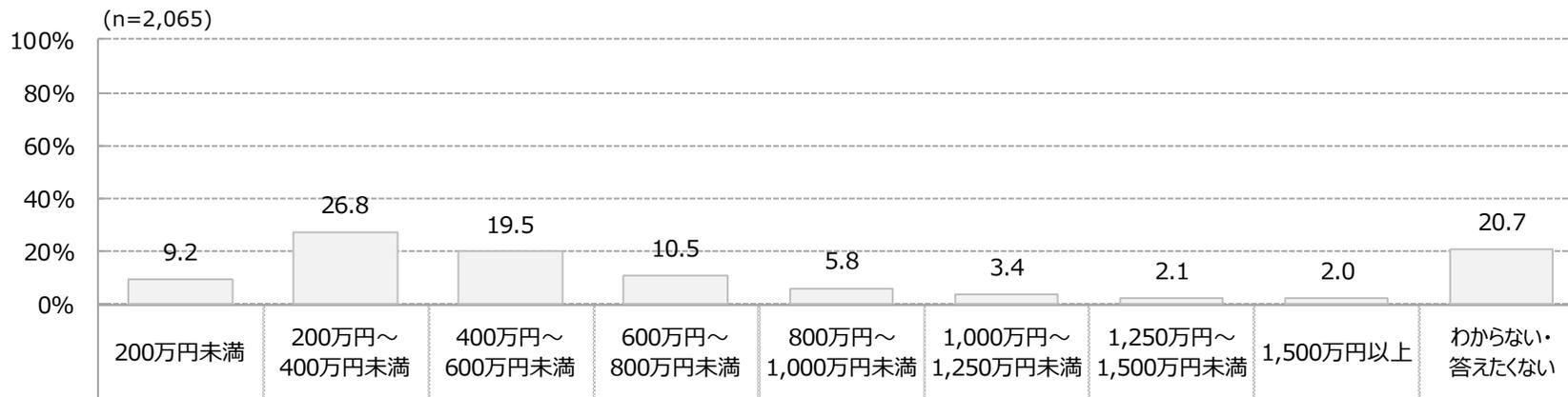


(n=2,065)

本調査回答者プロフィール

◆ Q21.世帯年収

【平均年収529万円】



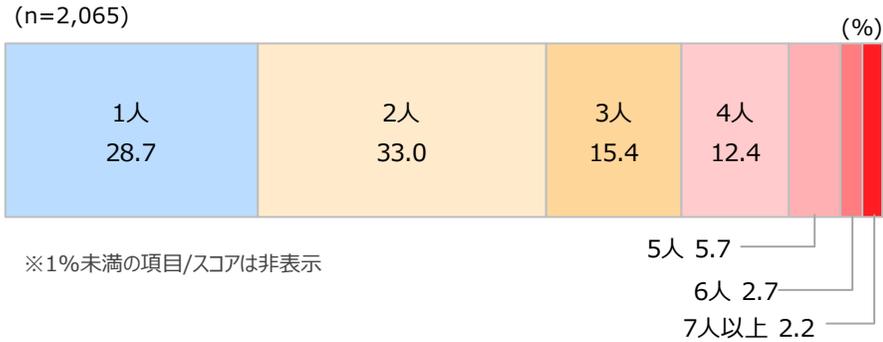
◆ Q22.世帯保有資産

【平均資産額1,120万円】



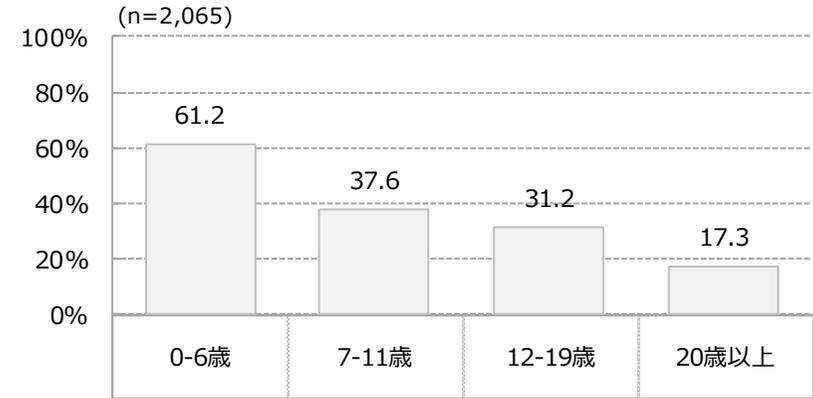
本調査回答者プロフィール

◆ SQ3.孫の人数

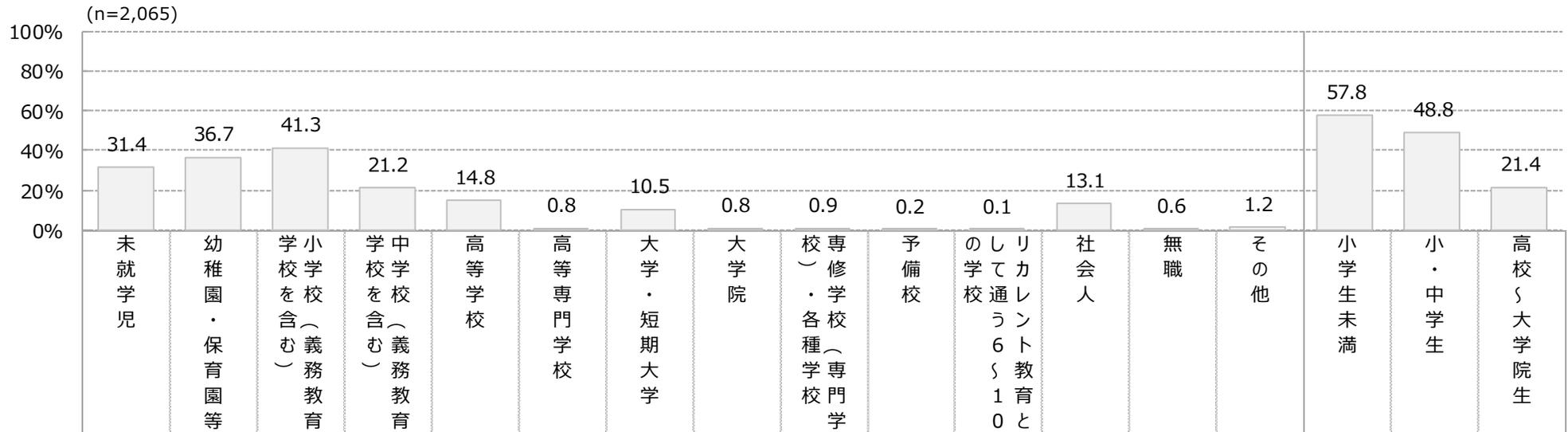


◆ SQ4.孫の年齢

【既婚の孫のいる割合 5.5%】



◆ SQ5.孫の就学状況

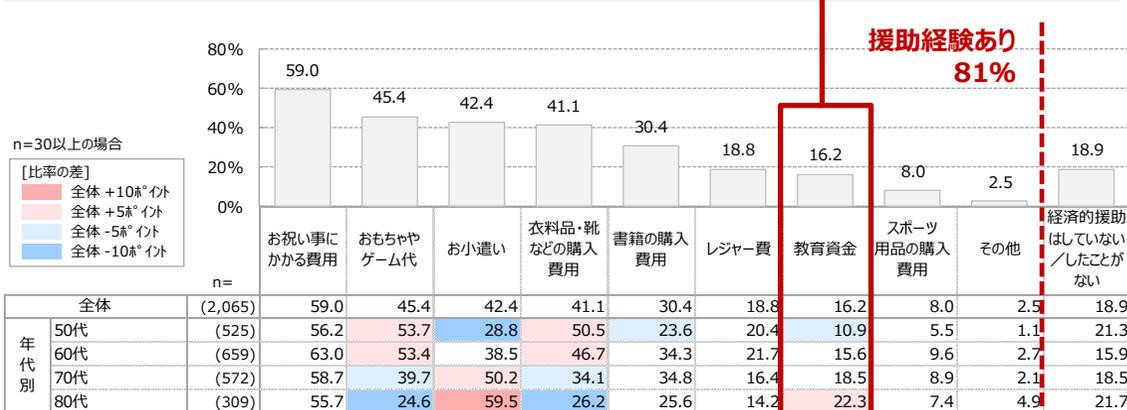


調査結果の要約

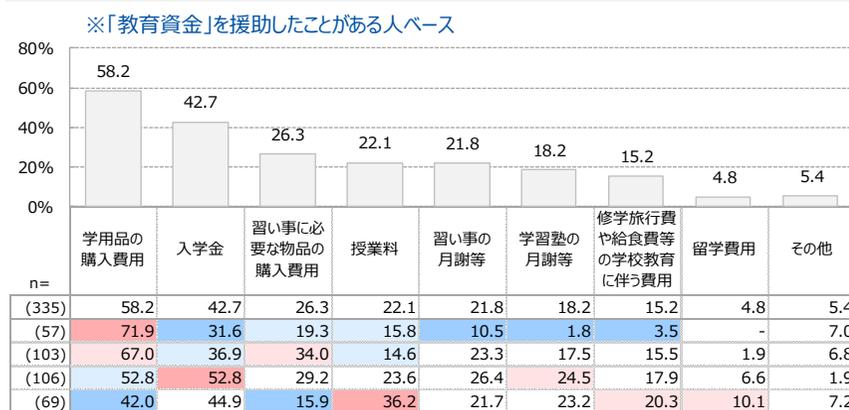
1.孫への金銭的援助の経験

- 全体では81%の人が孫への金銭的援助経験があるが、援助内容の多くはお祝い事にかかる費用、おもちゃやゲーム代、お小遣い、衣料品や靴の購入費用など。教育資金の援助経験者は全体の16%に留まっている。
- 教育資金の内訳は、学用品の購入費用（58%）が最も多く、ついで入学金（43%）、習い事に必要な物品の購入費用（26%）が続く。教育資金援助額の中央値は50万円。援助タイミングは小学校入学時（58%）が最も多く、ついで保育園や幼稚園入学時（53%）、生まれた頃（36%）の順に高い。

Q1. 孫への金銭的援助の経験



Q2. 教育資金に対する援助の用途



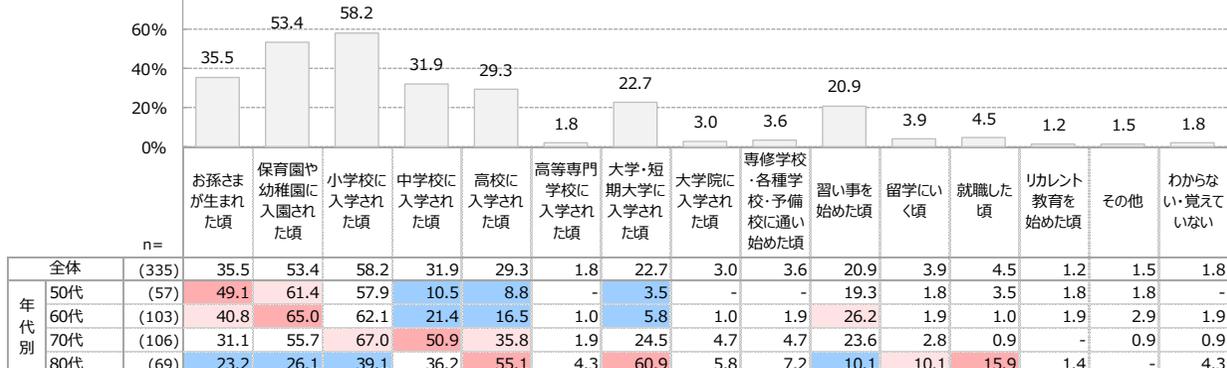
Q4. 孫への教育資金の金銭的援助額

※「教育資金」を援助したことがある人ベース



Q3. 孫への教育資金援助のタイミング

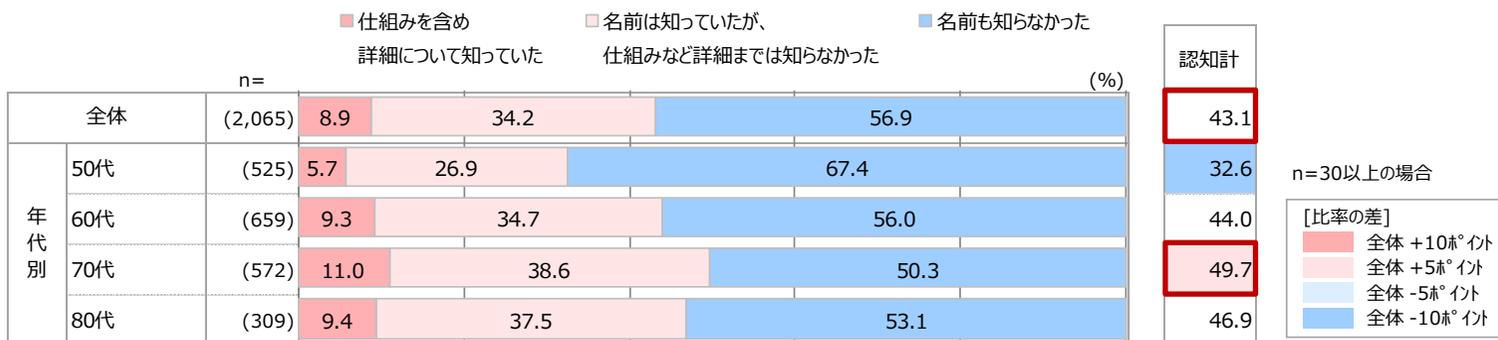
※「教育資金」を援助したことがある人ベース



2.「教育資金贈与信託」の浸透度

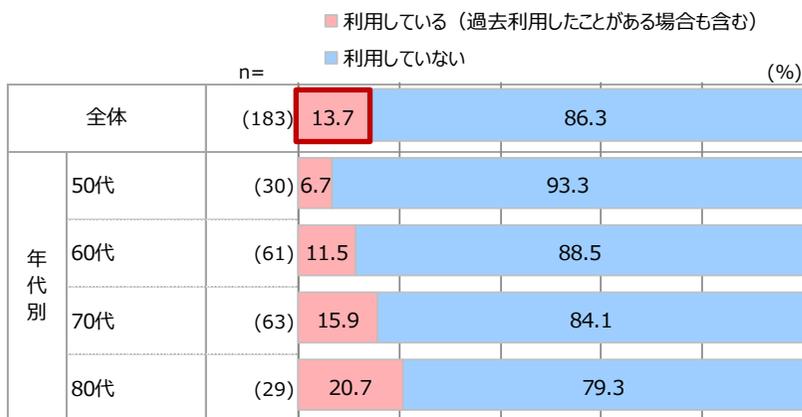
- 教育資金贈与信託の認知率は、全体では43%。年代別で見ると70代での認知が最も高く、50%となっている。
- 認知者のうち、教育資金贈与信託の利用経験者は14%。教育資金贈与信託の利用額の中央値は（サンプル数僅少のため参考値ではあるが）300万円。
- 教育資金贈与信託の利用理由は（サンプル数僅少のため参考値ではあるが）、教育目的に限定して贈与できること（68%）が最も多く、ついでお孫さまの教育に寄与する（64%）、煩雑な都度の贈与をせずに一括贈与ができる（36%）の順となっている。

Q6. 教育資金贈与信託の認知



Q7. 教育資金贈与信託の利用経験

※「教育資金贈与信託」詳細認知者ベース



Q9. 利用金額

※「教育資金贈与信託」利用経験者ベース

中央値
300万円

平均値
442万円

Q8. 教育資金贈与信託の利用理由

(n=25)		(%)
1位	使途を教育目的に限定し、贈与ができるから	68.0
2位	お孫さまの教育に寄与するから	64.0
3位	煩雑な都度の贈与をせずに、一括贈与ができるから	36.0
4位	本商品の利用により教育資金の負担が軽くなった分を他の支出に使ってほしいから	20.0
5位	非課税措置の適用期限（2019年3月末※）が間近になり、廃止の可能性があると思ったから	16.0
6位	その他	8.0

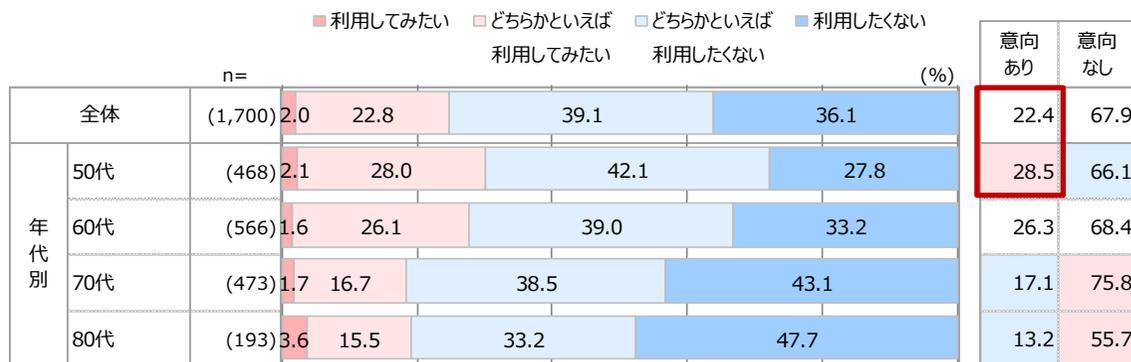
※2019年4月に、適用期限は2021年3月末まで延長された

3.「教育資金贈与信託」の利用意向

- 教育資金贈与信託の今後利用意向は、全体では22%。年代別で見ると50代での利用意向が最も高く29%となっている。ライフステージの変更が、教育資金贈与信託の利用に繋がる可能性があると感じた人は全体の17%。
- 教育資金贈与信託の利用意向理由は、お孫さまの教育に寄与する（45%）、用途を教育に限定できる（41%）の2つが特に高い。
- 教育資金贈与信託の援助意向金額は、300万円未満という回答が全体の7割を占める。

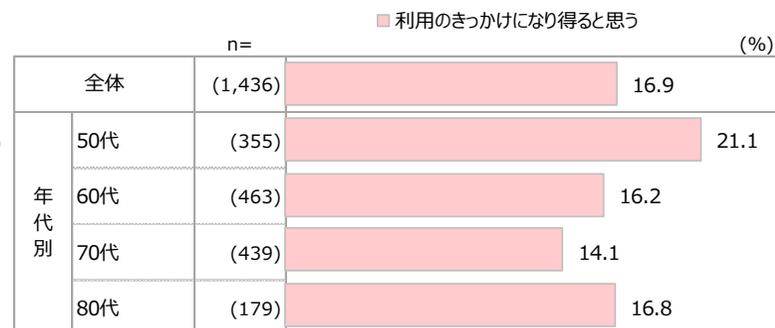
Q14.教育資金贈与信託の今後利用意向

※「教育資金贈与信託」利用可能者ベース



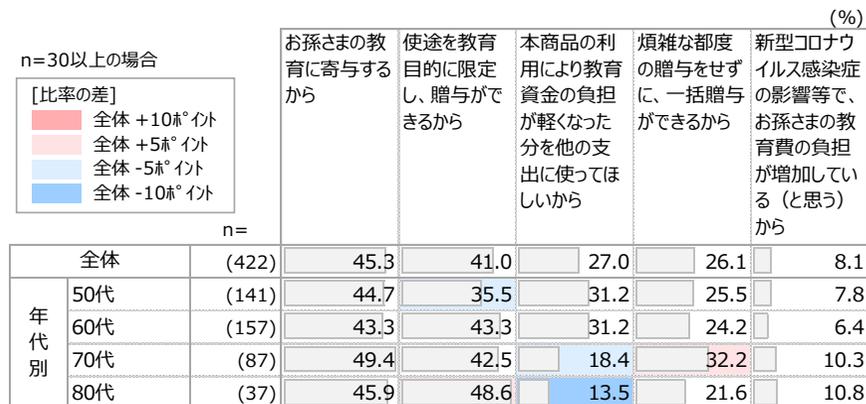
Q18.ライフステージ変更時の教育資金贈与信託利用

※「教育資金贈与信託」詳細認知&非利用者 または 今後の利用意向なしベース



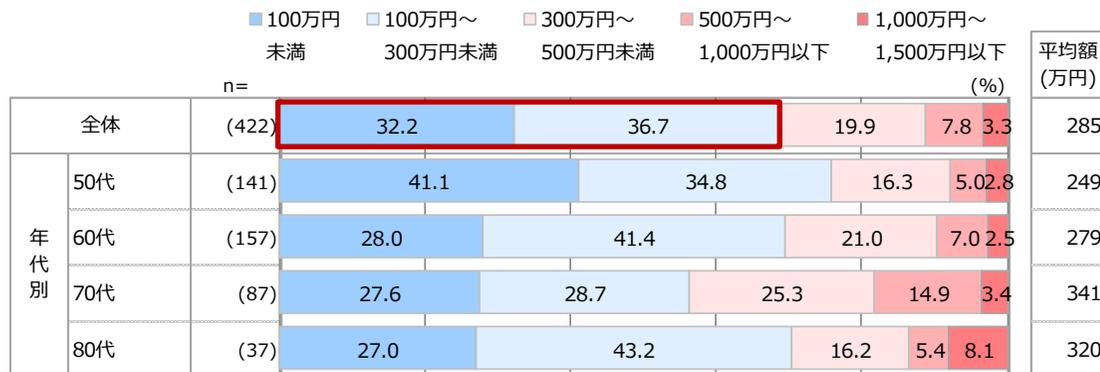
Q15.教育資金贈与信託の利用意向理由

※「教育資金贈与信託」今後の利用意向ありベース



Q16.教育資金贈与信託の援助意向金額

※「教育資金贈与信託」今後の利用意向ありベース



4.「教育資金贈与信託」の非利用理由／非利用意向理由

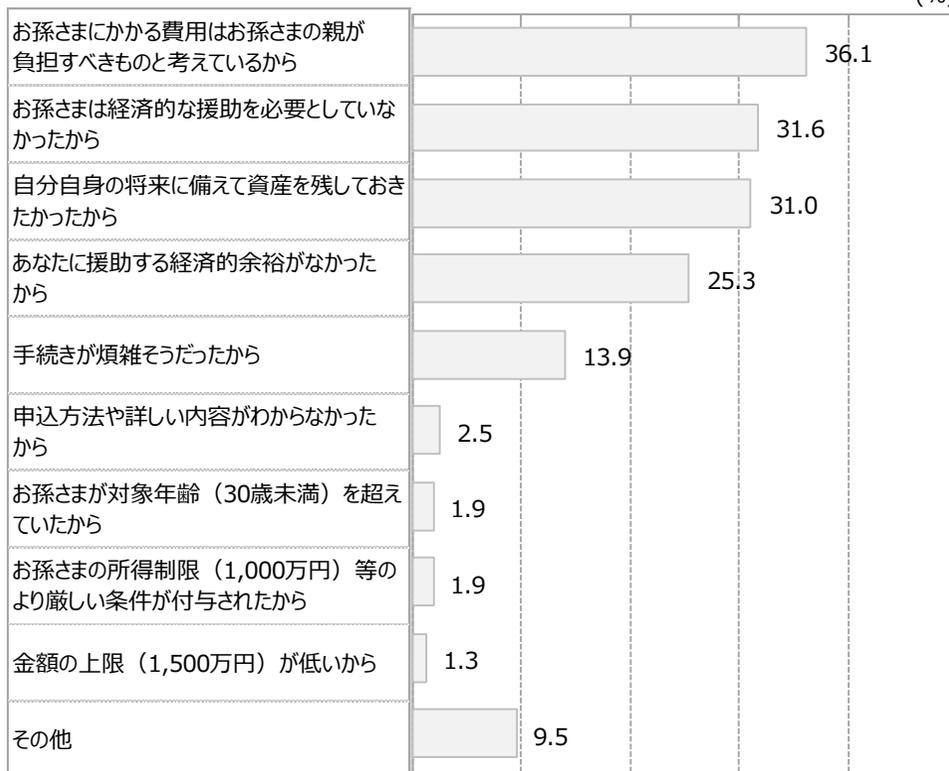
- 教育資金贈与信託の非利用理由は、お孫さまにかかる費用はお孫さまの親が負担すべき（36%）が最も多く、ついでお孫さまが経済的な援助を必要としていない（32%）、自分自身の将来に備えて資産を残しておきたい（31%）と続く。
- 教育資金贈与信託の非利用意向理由は、援助する経済的余裕がない（35%）が最も多く、ついでお孫さまにかかる費用はお孫さまの親が負担すべき（32%）、自分自身の将来に備えて資産を残しておきたい（29%）と続く。

Q10.教育資金贈与信託の非利用理由

※「教育資金贈与信託」詳細認知かつ非利用者ベース

(n=158)

(%)

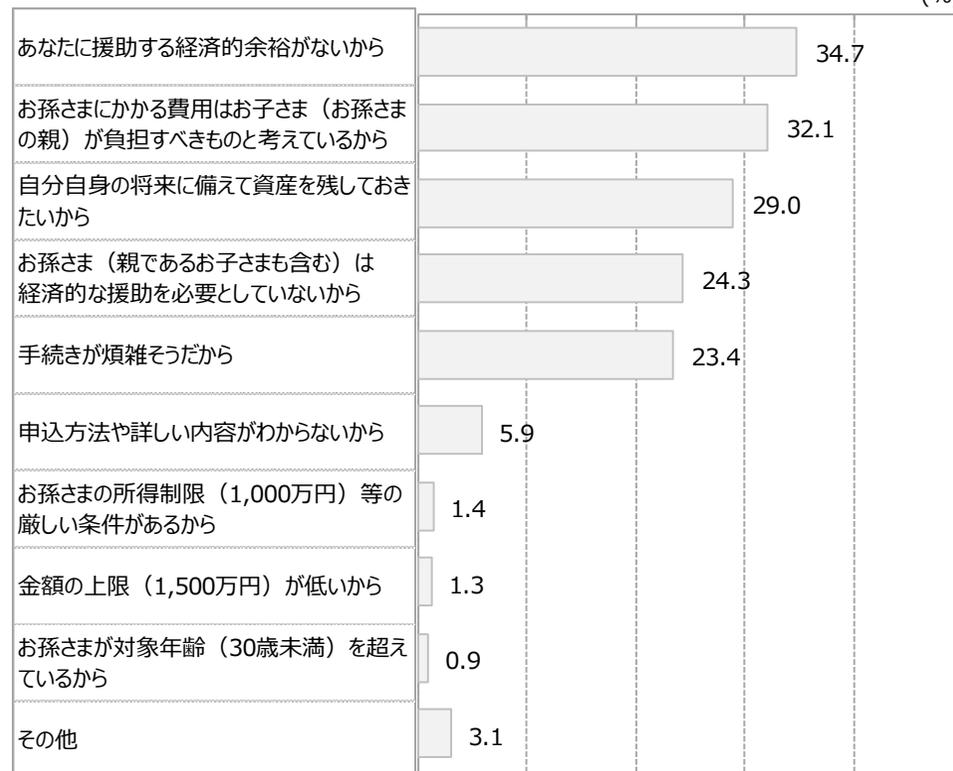


Q17.教育資金贈与信託の非利用意向理由

※「教育資金贈与信託」今後の利用意向なしベース

(n=1,278)

(%)



5.「教育資金贈与信託」利用への影響要素

- H31の法改正により、23歳以上の孫への教育資金贈与信託の資金使途が制限されたことについて、使いにくく感じる人は全体の37%。教育資金贈与信託利用意向者では、使いにくく感じるが47%と半数近くを占める。
- 資金使途制限が23歳未満まで等更に拡大した場合、使いにくく感じる人は全体の63%と大きく増加する。
- また、現在教育資金贈与信託は孫の所得制限があるが、これに親の世帯年収制限も追加になった場合、使いにくく感じる人は全体の43%まで増加。

Q12.H31法改正による、23歳以上の孫への資金使途制限に対する意識

■ 使いにくく感じる ■ あまり影響はないように感じる



Q13. 23歳未満も制限等、資金使途制限が更に拡大したときの意識

■ 学校等に関する費用/教育訓練の受講に係る支払いにしか使わないと思うので、問題ない ■ 影響があると思うのでやめてほしい



Q11. 親の世帯年収まで年収制限が拡大したときの意識

■ 使いにくく感じる ■ あまり影響はないように感じる

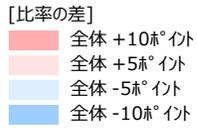


6.「教育資金贈与信託」利用への影響要素_1

- 日本の近年の教育無償化制度により、孫の教育費負担が軽減されていると感じるかどうかについては、大いに軽減されているという回答が16%、多少は軽減されている（58%）と合わせたTOP2値が74%。
軽減されているという回答は80代でやや低いものの、その他の年代では大きな年代差はみられない。
- 教育資金贈与信託が、教育無償化制度の補完となるかどうかについては、有効だと思う人が97%と大半を占める。
有効だと感じる理由としては、将来的な教育費の不安がある（30%）、全ての負担がなくなるわけではない（29%）の2つが特に高い。
1位の将来的な教育費の不安は、年代が若い層でより強くなっている。

Q19.教育無償化制度による教育費負担感軽減意識

n=30以上の場合

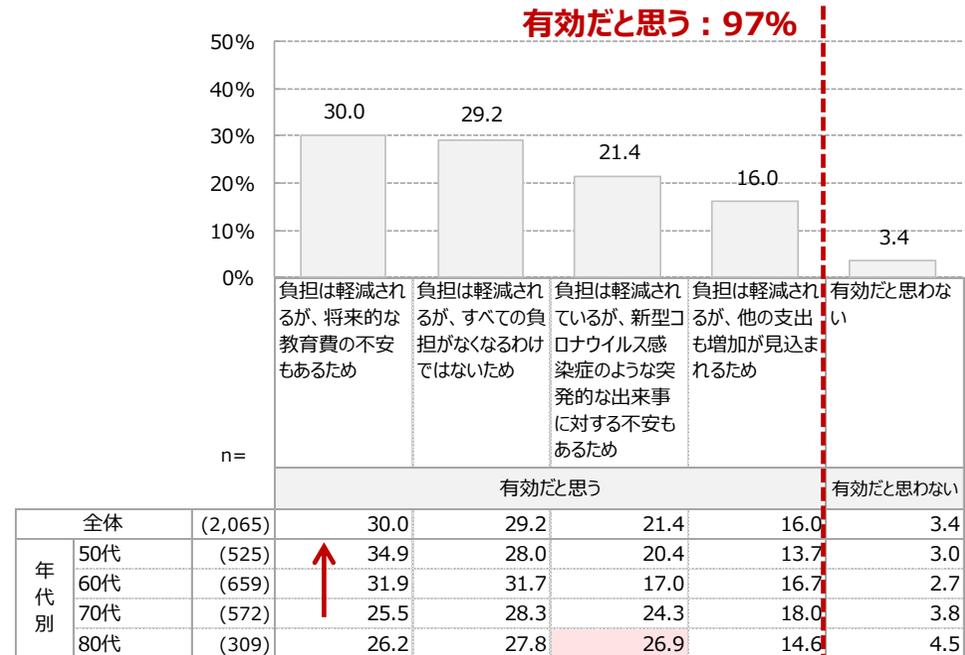


- 大いに軽減されている（と思う）
- 多少は軽減されている（と思う）
- 対象ではないため、負担がある（と思う）
- 対象ではなく、負担が大いにある（と思う）

		n=	n (%)			
全体	(2,065)	15.9	57.6	18.7	7.7	
年代別	50代	(525)	18.7	57.3	17.1	6.9
	60代	(659)	15.8	62.7	15.8	5.8
	70代	(572)	15.2	57.3	19.1	8.4
	80代	(309)	12.9	47.6	27.2	12.3

軽減されている	負担がある
73.5	26.5
76.0	24.0
78.5	21.5
72.6	27.4
60.5	39.5

Q20.教育無償化制度の補完となるかどうか



7.「教育資金贈与信託」利用への影響要素_2

- 新型コロナの感染拡大影響について聴取したところ、全体では収入が減少した人は24%、学費負担が増えた人が31%存在する。
- 収入減と学費負担増のいずれにもあてはまる人が全体の12%で、収入減と学費負担増のいずれかもあてはまる人は全体の50%となっている。
- 年代別にみると、収入が減少した人、学費負担が増えた人いずれも50代で最も多く、それぞれ31%、36%となっている。

Q5.新型コロナの影響による、お孫さまの学費負担感

n=30以上の場合

[比率の差]



- 収入が減少し、学費の負担感が大きくなると思う（なった）
- 収入が減少したが、学費の負担感は今までと変わらないと思う（変わっていない）
- 収入に変化はないが、これから学費の負担感が大きくなる恐れがあると思う（なる）
- 収入に変化はなく、学費の負担感も今までと変わらないと思う（変わっていない）
- その他

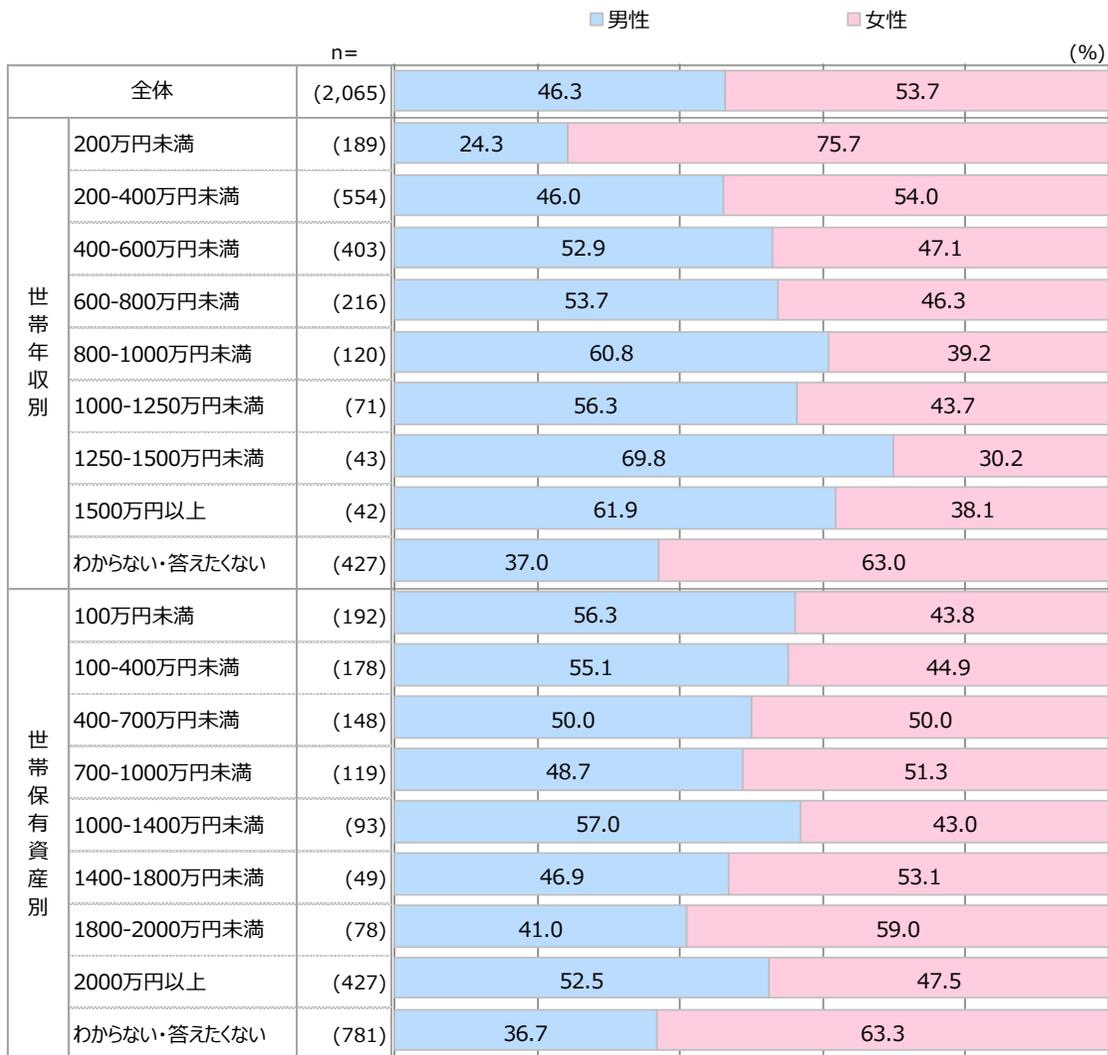
		n=	(%)				
全体		(2,065)	11.8	12.1	19.7	49.5	7.0
年代別	50代	(525)	16.4	14.7	19.8	42.9	6.3
	60代	(659)	10.8	13.1	21.9	49.9	4.4
	70代	(572)	10.0	9.6	20.1	54.5	5.8
	80代	(309)	9.4	10.4	13.9	50.5	15.9

収入減少あり	学費負担が増える
23.9	31.4
31.0	36.2
23.8	32.6
19.6	30.1
19.7	23.3

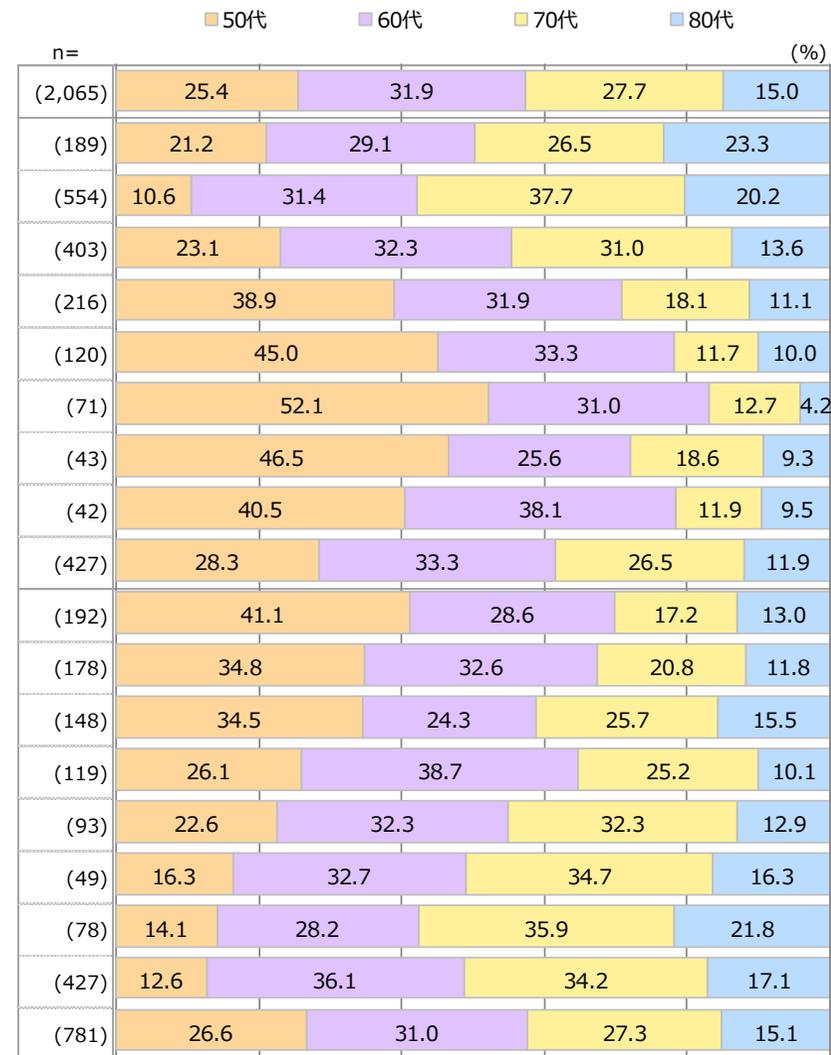
調査結果の詳細

回答者属性

◆ 性別

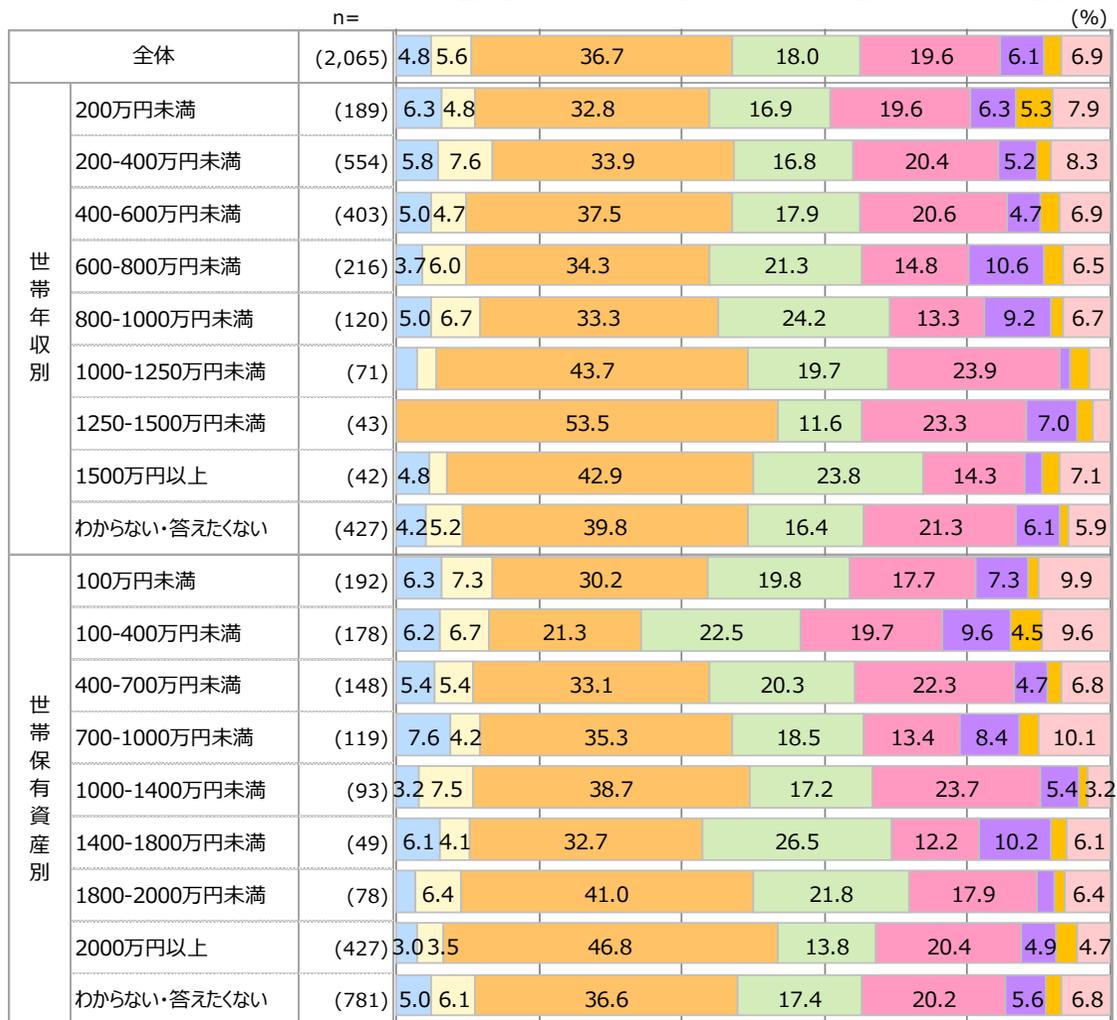


◆ 年齢



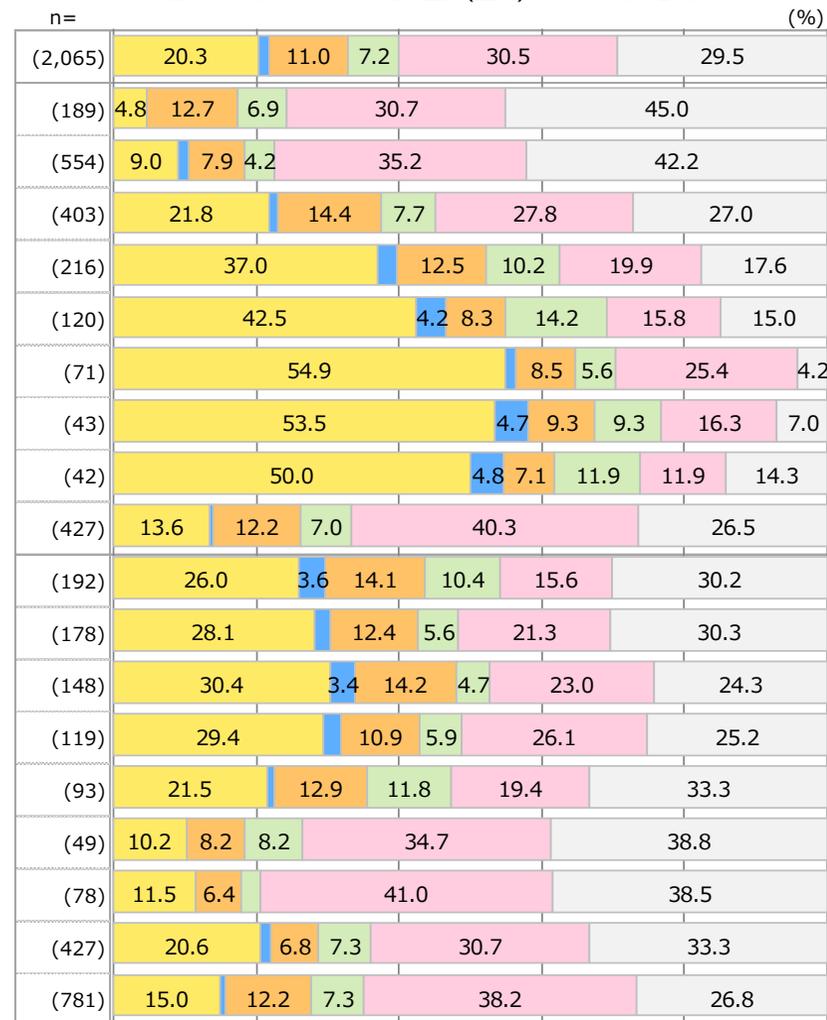
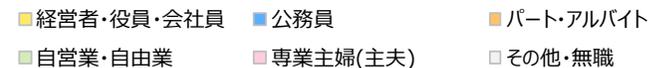
回答者属性

◆ 居住地



3%未満のスコアは非表示

◆ 職業



3%未満のスコアは非表示

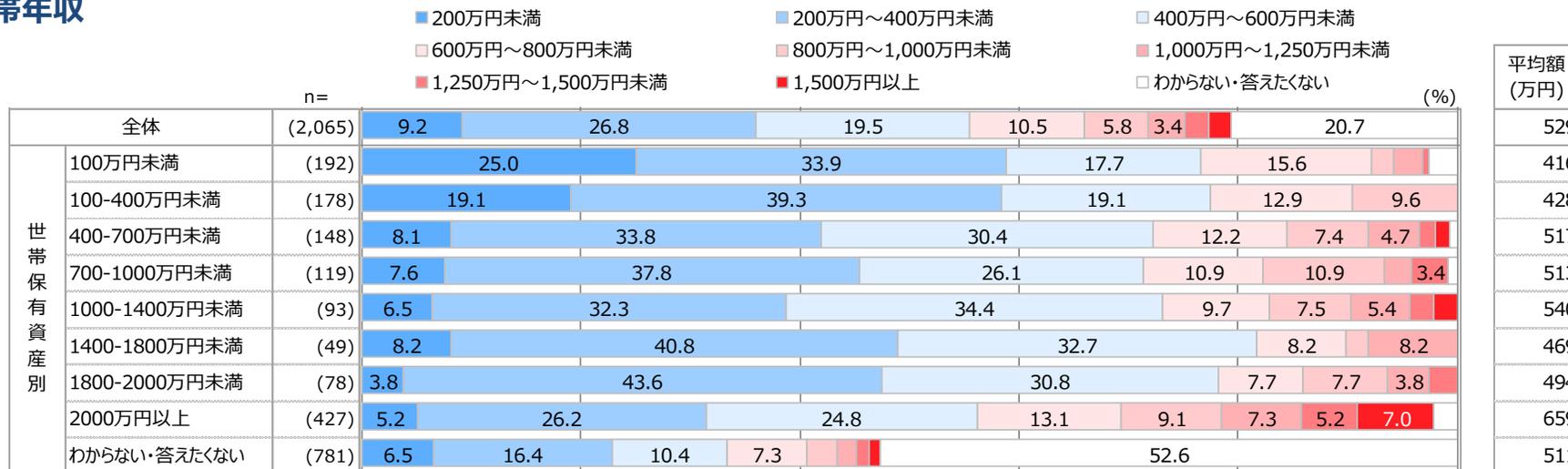
世帯年収／世帯資産

Q21 あなたの世帯の昨年1年間の世帯年収（税込）はいくらぐらいですか。副収入なども含めてお答えください。（ひとつだけ）

Q22 あなたの世帯の現在の資産額（貯蓄や投資残高）はいくらぐらいですか。株式は時価、公社債は額面金額としてください。不動産は含まずにお答えください。（ひとつだけ）

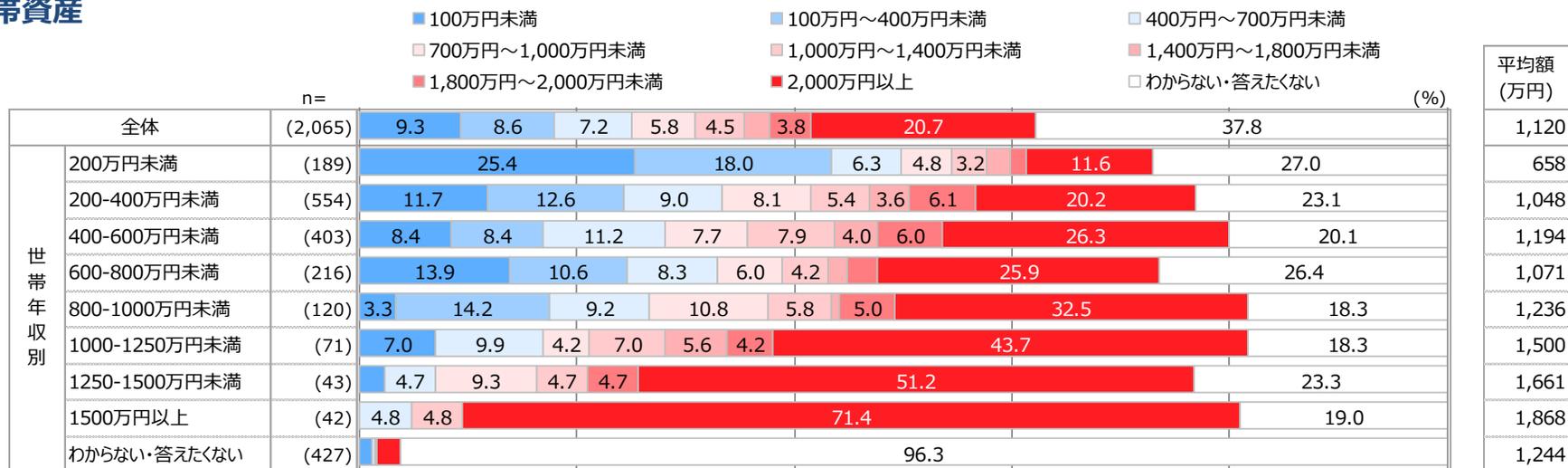
SA
SA

◆ 世帯年収



3%未満のスコアは非表示

◆ 世帯資産



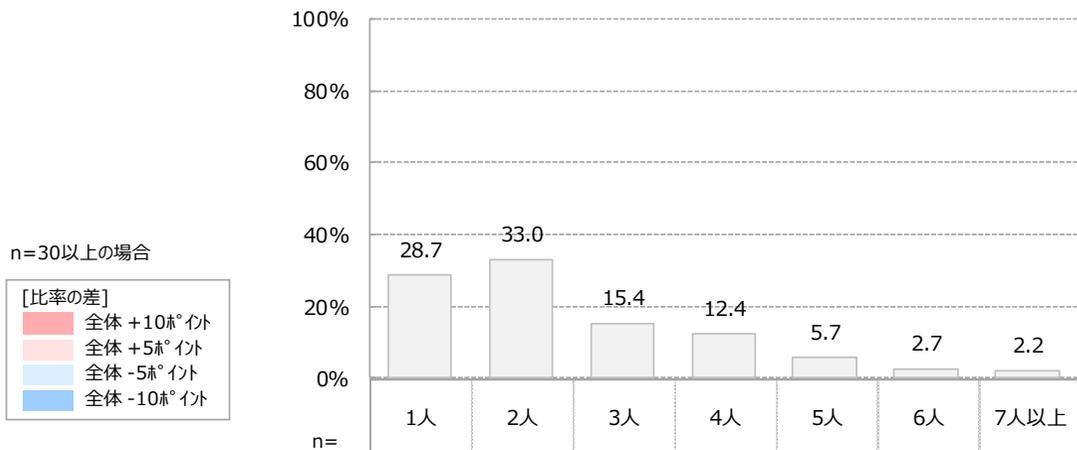
3%未満のスコアは非表示

孫の人数、年齢

SQ3 あなたのお孫さまの人数を教えてください。同居の有無を問わずお答えください。(ひとつだけ)
 SQ4 あなたのお孫さまの年齢について、あてはまる年齢をすべてお選びください。(いくつでも)

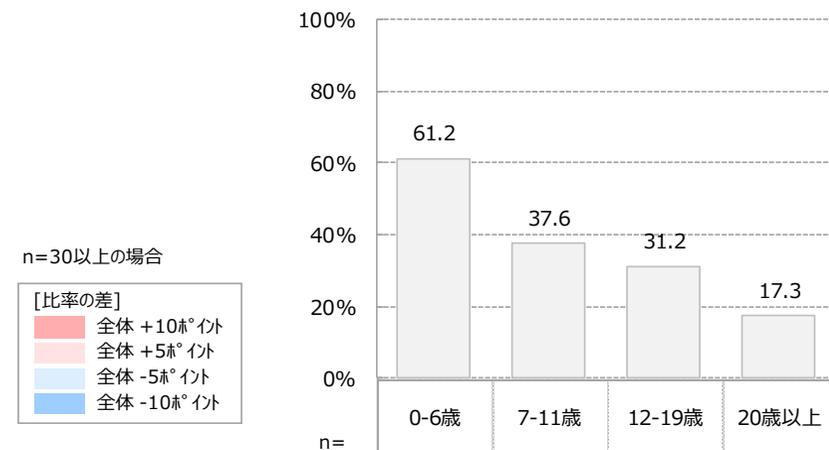
SA
MA

◆ 孫の人数



世帯年収別		n=	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
全体		(2,065)	28.7	33.0	15.4	12.4	5.7	2.7	2.2
	200万円未満	(189)	22.2	40.2	11.6	15.9	4.2	2.6	3.2
	200-400万円未満	(554)	21.7	34.5	16.6	15.9	6.0	3.1	2.3
	400-600万円未満	(403)	27.8	31.8	18.1	10.7	6.9	2.5	2.2
	600-800万円未満	(216)	31.5	36.1	13.0	8.8	6.0	1.9	2.8
	800-1000万円未満	(120)	39.2	26.7	14.2	13.3	5.8	0.8	-
	1000-1250万円未満	(71)	40.8	32.4	11.3	12.7	-	-	2.8
	1250-1500万円未満	(43)	41.9	32.6	11.6	7.0	2.3	4.7	-
	1500万円以上	(42)	35.7	33.3	11.9	9.5	-	4.8	4.8
	わからない・答えたくない	(427)	33.0	29.5	15.7	10.3	6.6	3.3	1.6
世帯保有資産別		n=	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
全体		(2,065)	28.7	33.0	15.4	12.4	5.7	2.7	2.2
	100万円未満	(192)	32.8	33.3	12.5	10.4	5.2	1.6	4.2
	100-400万円未満	(178)	33.1	32.0	10.7	12.4	5.6	2.8	3.4
	400-700万円未満	(148)	28.4	33.8	18.2	9.5	4.1	2.0	4.1
	700-1000万円未満	(119)	29.4	33.6	19.3	9.2	3.4	4.2	0.8
	1000-1400万円未満	(93)	28.0	31.2	17.2	14.0	4.3	2.2	3.2
	1400-1800万円未満	(49)	12.2	38.8	28.6	10.2	8.2	-	2.0
	1800-2000万円未満	(78)	21.8	30.8	19.2	14.1	12.8	1.3	-
	2000万円以上	(427)	27.6	30.4	12.9	17.8	7.3	2.3	1.6
	わからない・答えたくない	(781)	28.9	34.4	15.9	10.8	5.0	3.3	1.7

◆ 孫の年齢

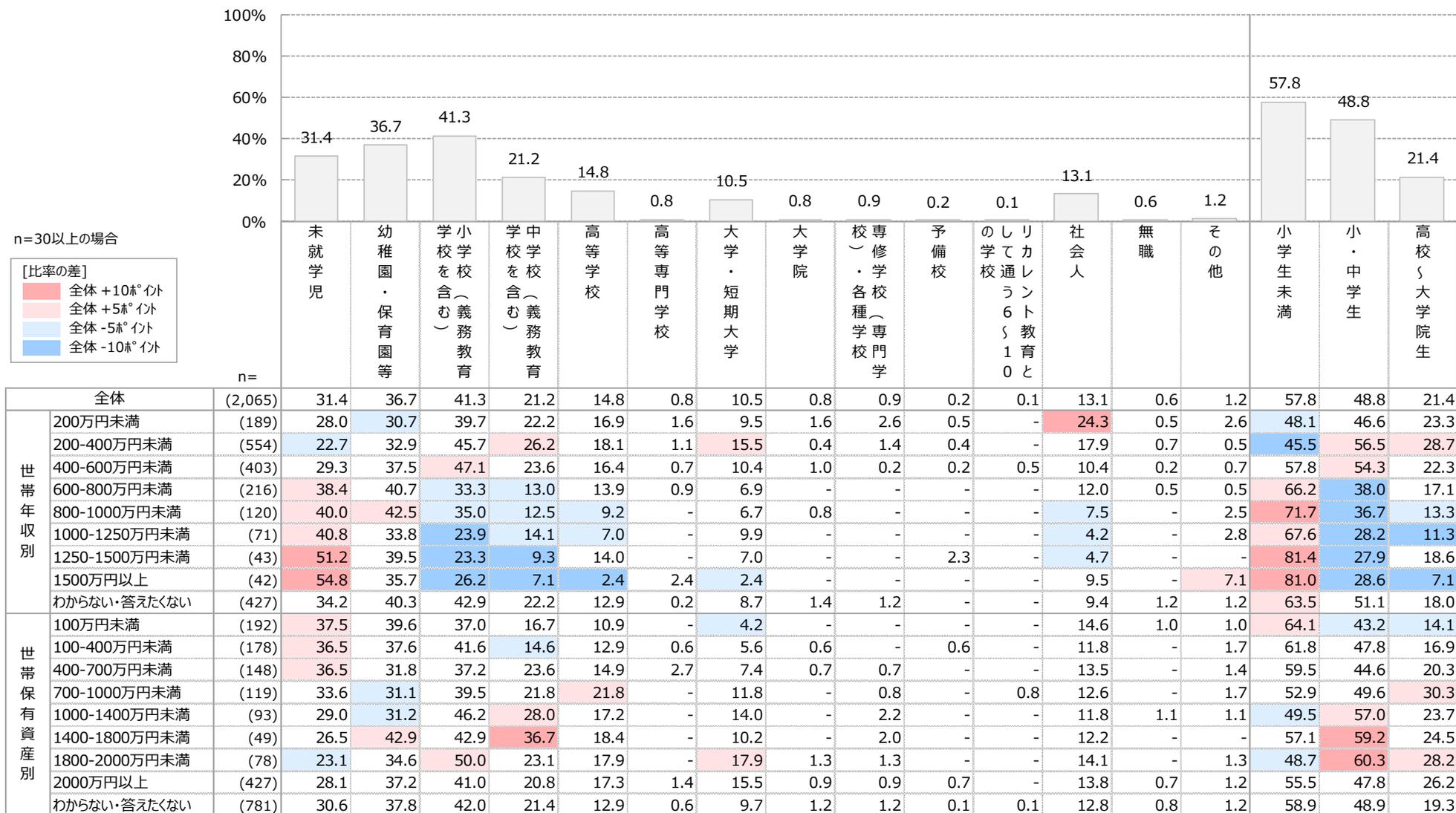


世帯年収別		n=	0-6歳	7-11歳	12-19歳	20歳以上
全体		(2,065)	61.2	37.6	31.2	17.3
	200万円未満	(189)	51.9	33.3	35.4	28.0
	200-400万円未満	(554)	49.3	42.4	39.0	23.3
	400-600万円未満	(403)	61.3	41.9	34.0	13.9
	600-800万円未満	(216)	68.1	29.6	24.1	15.3
	800-1000万円未満	(120)	74.2	34.2	16.7	11.7
	1000-1250万円未満	(71)	71.8	25.4	19.7	11.3
	1250-1500万円未満	(43)	83.7	23.3	18.6	7.0
	1500万円以上	(42)	88.1	26.2	7.1	9.5
	わからない・答えたくない	(427)	67.0	38.9	30.0	13.6
世帯保有資産別		n=	0-6歳	7-11歳	12-19歳	20歳以上
全体		(2,065)	61.2	37.6	31.2	17.3
	100万円未満	(192)	67.2	30.2	24.0	15.1
	100-400万円未満	(178)	65.2	36.5	24.7	13.5
	400-700万円未満	(148)	66.2	33.8	27.7	16.9
	700-1000万円未満	(119)	57.1	33.6	35.3	17.6
	1000-1400万円未満	(93)	49.5	41.9	41.9	16.1
	1400-1800万円未満	(49)	57.1	36.7	44.9	12.2
	1800-2000万円未満	(78)	52.6	48.7	38.5	24.4
	2000万円以上	(427)	58.8	38.9	34.0	19.9
	わからない・答えたくない	(781)	62.4	38.8	30.2	17.2

孫の就業状況

SQ5 お孫さまの通っている学校を教えてください。お孫さまが複数いる場合は、あてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

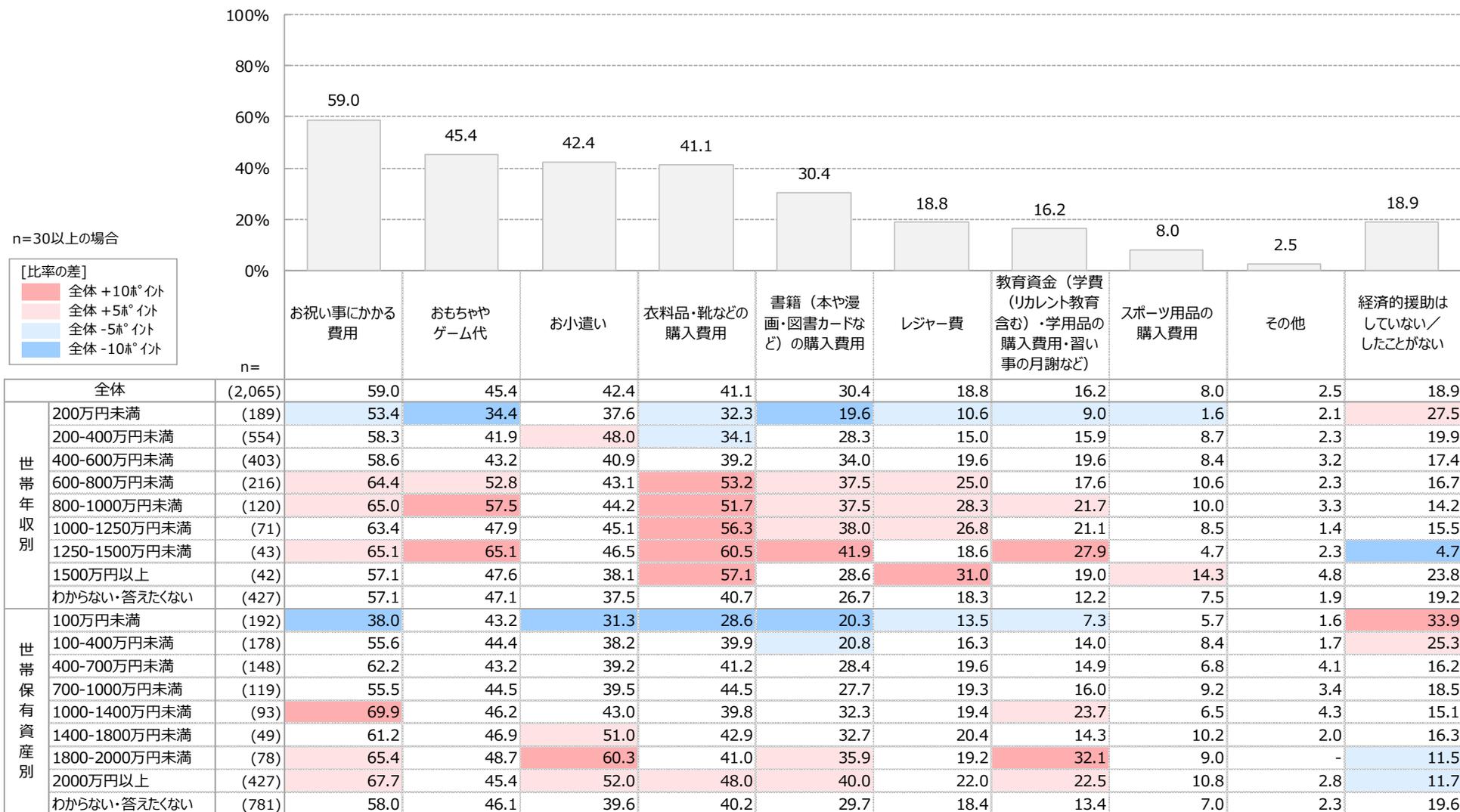
MA



孫への金銭的援助の経験

Q1 あなたは、お孫さまに対してこれまでに以下のような経済的援助をしたことがありますか。あてはまるものをいくつでもお答えください。（いくつでも）

MA



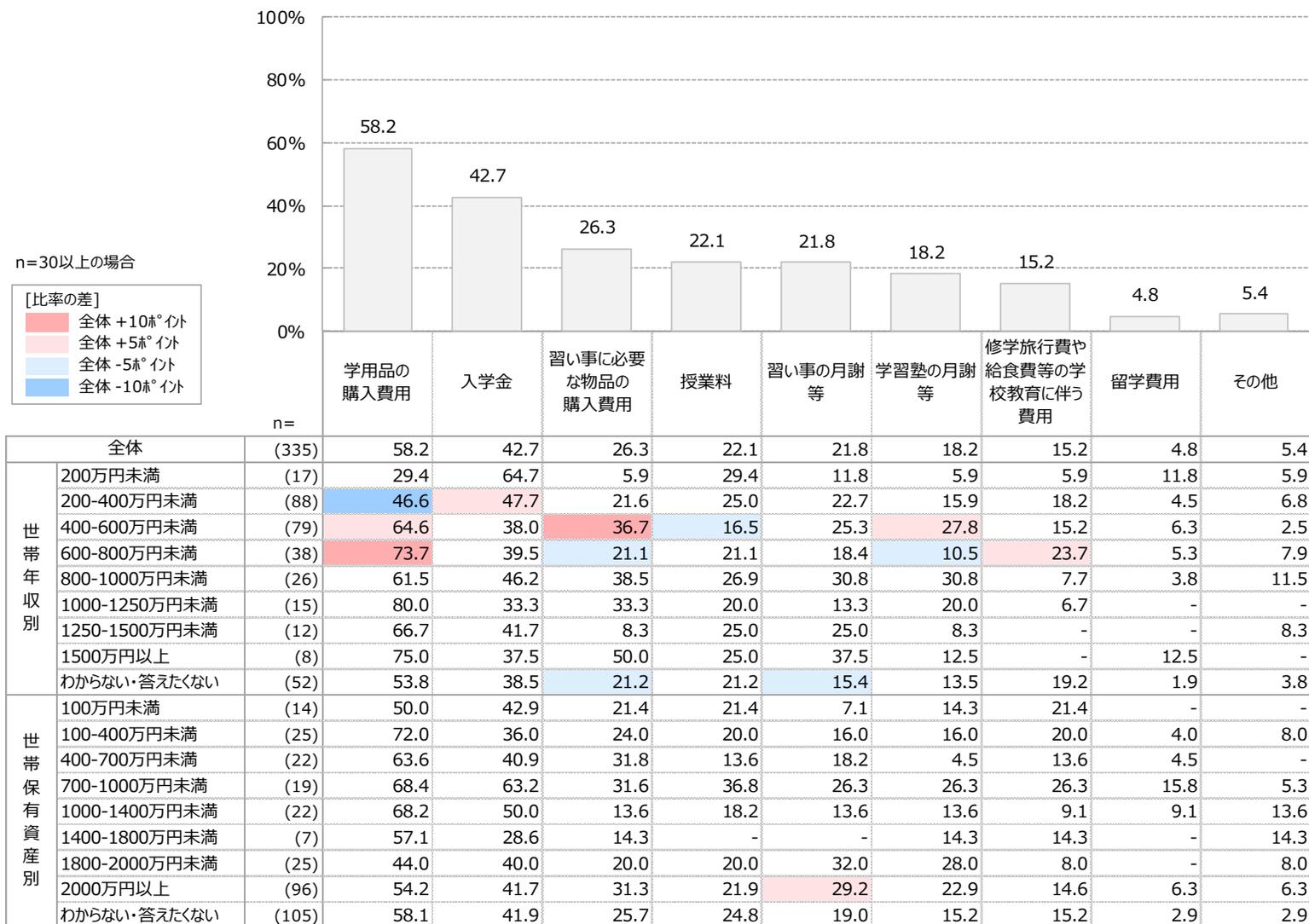
※全体スコアの降順にソート

教育資金に対する援助の用途

Q2 お孫さまのような教育資金について経済的援助をしましたか。あてはまるものをいくつでもお答えください。(いくつでも)

MA

※「教育資金」を援助したことがある人ベース



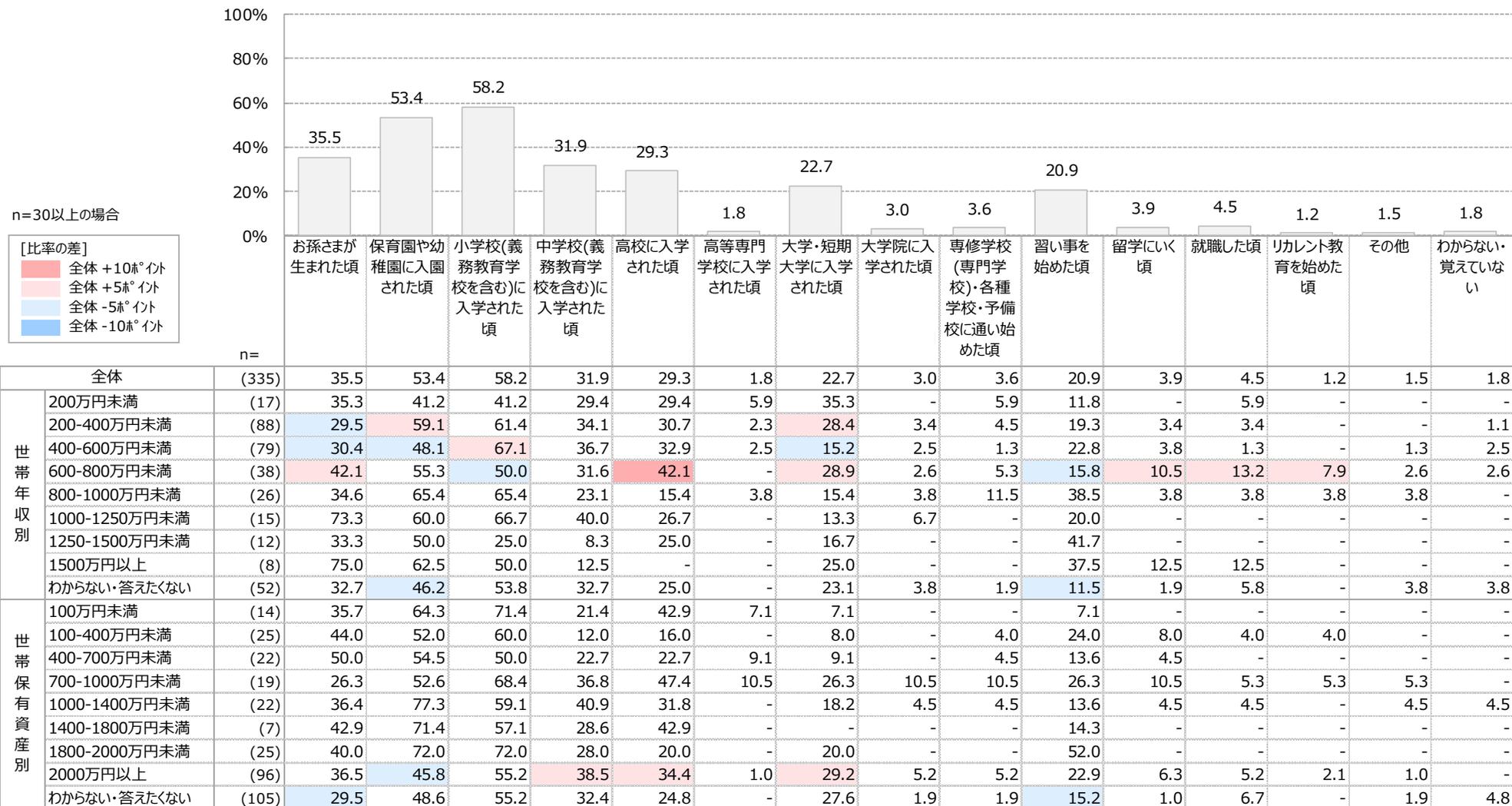
※全体スコアの降順にソート

孫への教育資金援助のタイミング

Q3 お孫さまに教育資金の援助を行ったタイミングはいつですか。あてはまるものをいくつでもお答えください。（いくつでも）

MA

※「教育資金」を援助したことがある人ベース

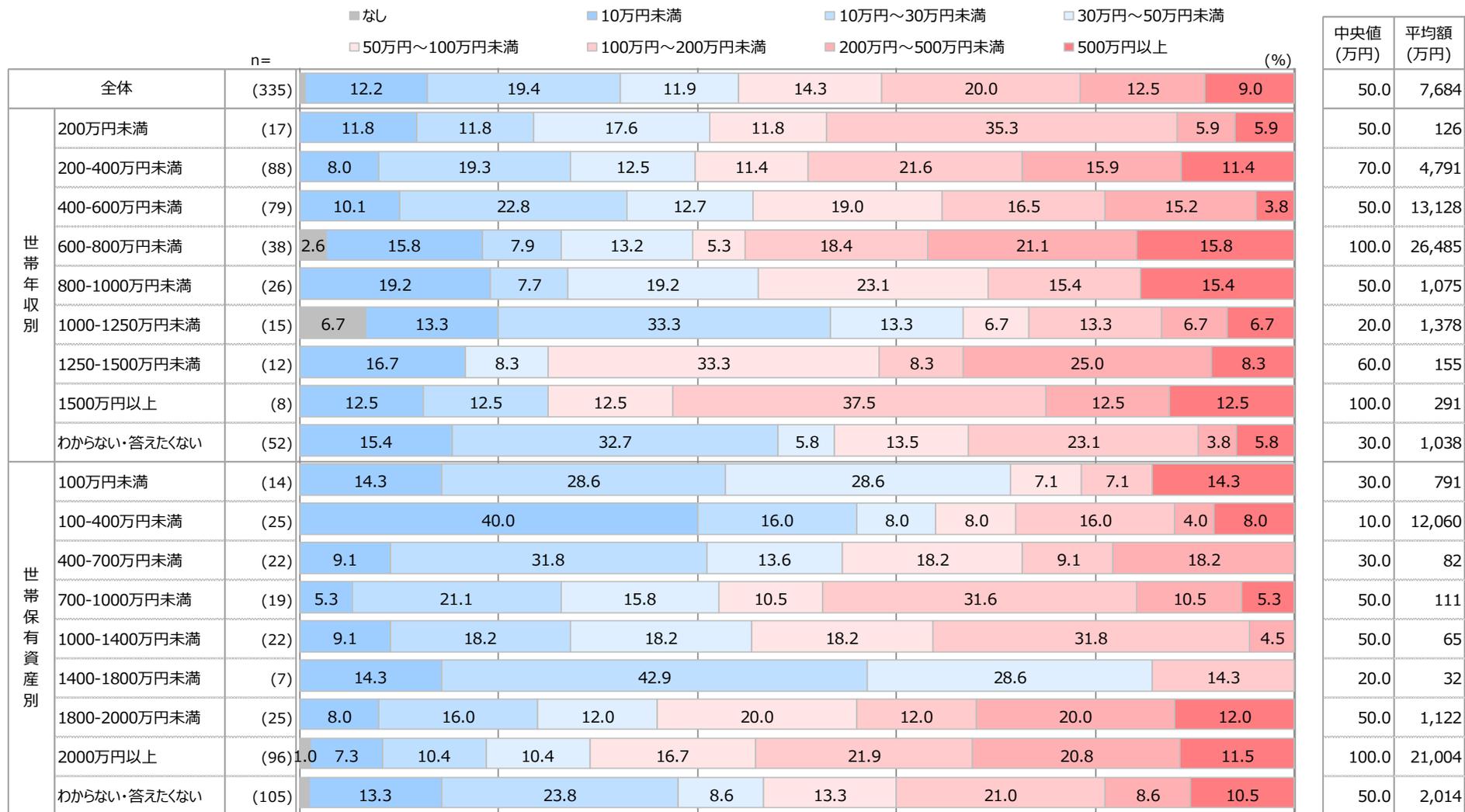


孫への教育資金の金銭的援助額

Q4 お孫さま1人あたりの平均援助額をお答えください。援助額はこれまでに援助した教育資金の総額でお考えください。【お孫さま1人あたり【 】万円】

SA

※「教育資金」を援助したことがある人ベース



1%未満のスコアは非表示

新型コロナウイルス感染症の影響

Q5 今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、お孫さまの学費の負担感に変化はあると思いますか（ありましたか）。（ひとつだけ）

SA

n=30以上の場合



- 収入が減少し、学費の負担感が大きくなると思う（なった）
- 収入が減少したが、学費の負担感はいくらでも変わらないと思う（変わっていない）
- 収入に変化はないが、これから学費の負担感が大きくなる恐れがあると思う（なる）
- 収入に変化はなく、学費の負担感もこれまでと変わらないと思う（変わっていない）
- その他

		n=	%				
全体		(2,065)	11.8	12.1	19.7	49.5	7.0
世帯 年収別	200万円未満	(189)	14.3	12.2	16.9	47.6	9.0
	200-400万円未満	(554)	12.1	10.3	19.9	50.0	7.8
	400-600万円未満	(403)	10.9	11.4	19.4	52.6	5.7
	600-800万円未満	(216)	10.6	16.7	17.1	48.6	6.9
	800-1000万円未満	(120)	15.0	10.8	22.5	43.3	8.3
	1000-1250万円未満	(71)	11.3	12.7	22.5	49.3	4.2
	1250-1500万円未満	(43)	11.6	9.3	11.6	62.8	4.7
	1500万円以上	(42)	2.4	16.7	23.8	54.8	2.4
	わからない・答えたくない	(427)	11.7	12.9	21.3	47.1	7.0
世帯 保有資産別	100万円未満	(192)	17.2	12.0	17.7	47.9	5.2
	100-400万円未満	(178)	16.9	12.4	19.7	44.4	6.7
	400-700万円未満	(148)	14.2	10.1	19.6	45.9	10.1
	700-1000万円未満	(119)	14.3	6.7	22.7	44.5	11.8
	1000-1400万円未満	(93)	12.9	17.2	21.5	43.0	5.4
	1400-1800万円未満	(49)	12.2	16.3	14.3	49.0	8.2
	1800-2000万円未満	(78)	6.4	16.7	20.5	55.1	1.3
	2000万円以上	(427)	6.1	10.1	19.4	58.5	5.9
	わからない・答えたくない	(781)	11.9	13.1	19.8	47.8	7.4

収入減少あり	学費負担が増える
23.9	31.4
26.5	31.2
22.4	31.9
22.3	30.3
27.3	27.8
25.8	37.5
23.9	33.8
20.9	23.3
19.0	26.2
24.6	33.0
29.2	34.9
29.2	36.5
24.3	33.8
21.0	37.0
30.1	34.4
28.6	26.5
23.1	26.9
16.2	25.5
25.0	31.8

1%未満のスコアは非表示

教育資金贈与信託の認知

Q6 あなたはこのサービスについてご存知でしたか。(ひとつだけ)

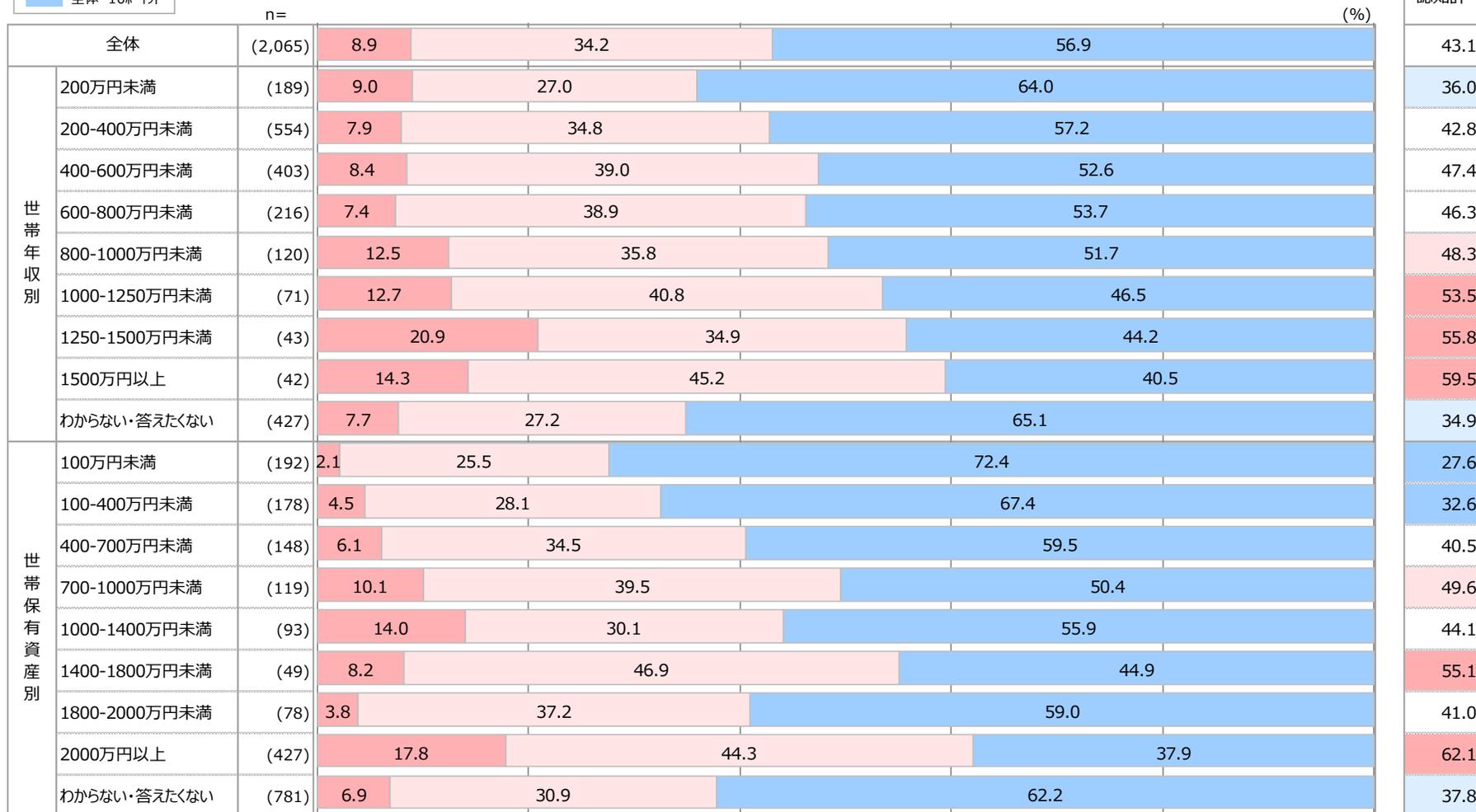
SA

n=30以上の場合

[比率の差]



■ 仕組みを含め詳細について知っていた □ 名前は知っていたが、仕組みなど詳細までは知らなかった ■ 名前も知らなかった



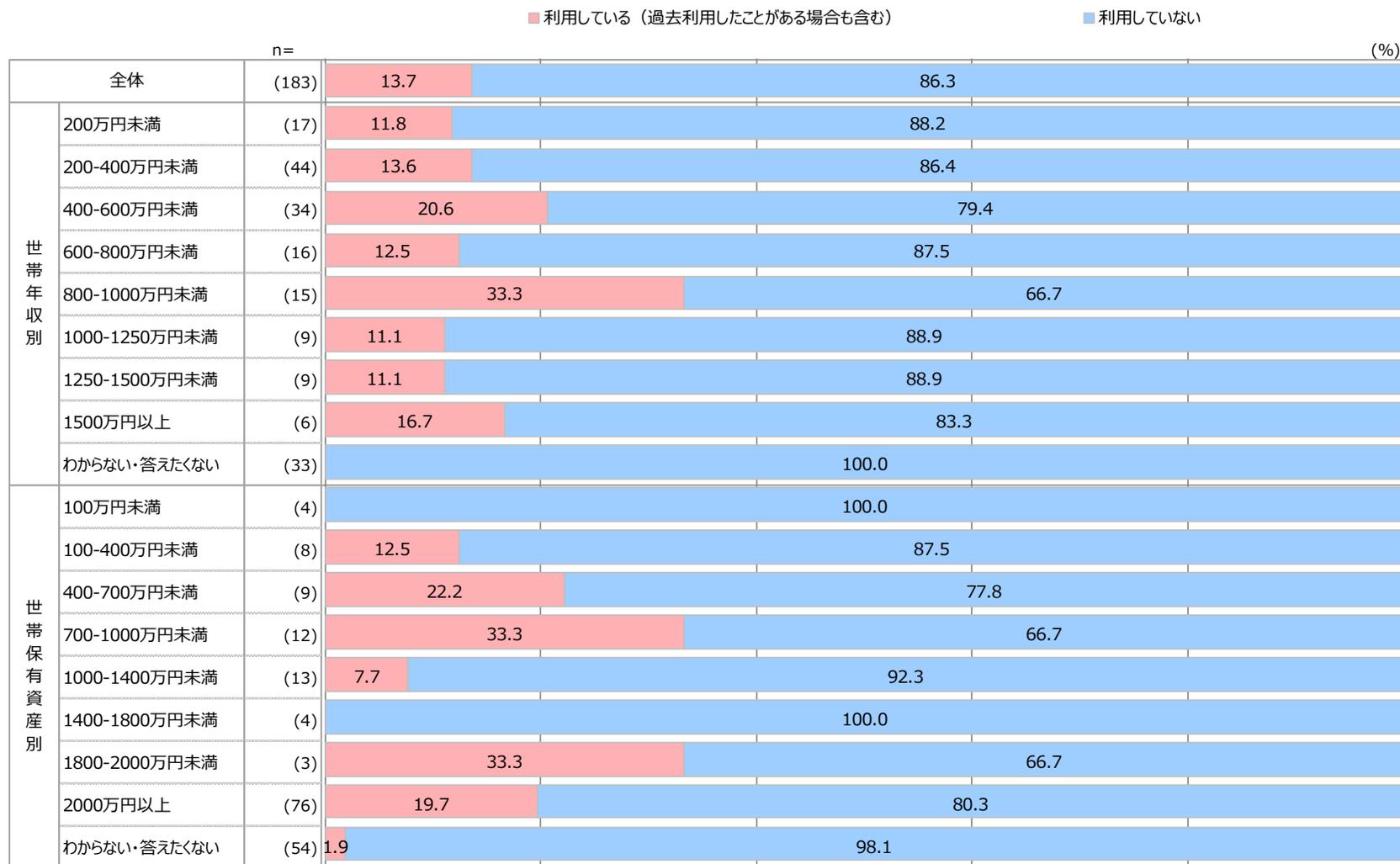
1%未満のスコアは非表示

教育資金贈与信託の利用経験

Q7 あなたはこのサービスを利用していますか。(ひとつだけ)

SA

※「教育資金贈与信託」詳細認知者ベース



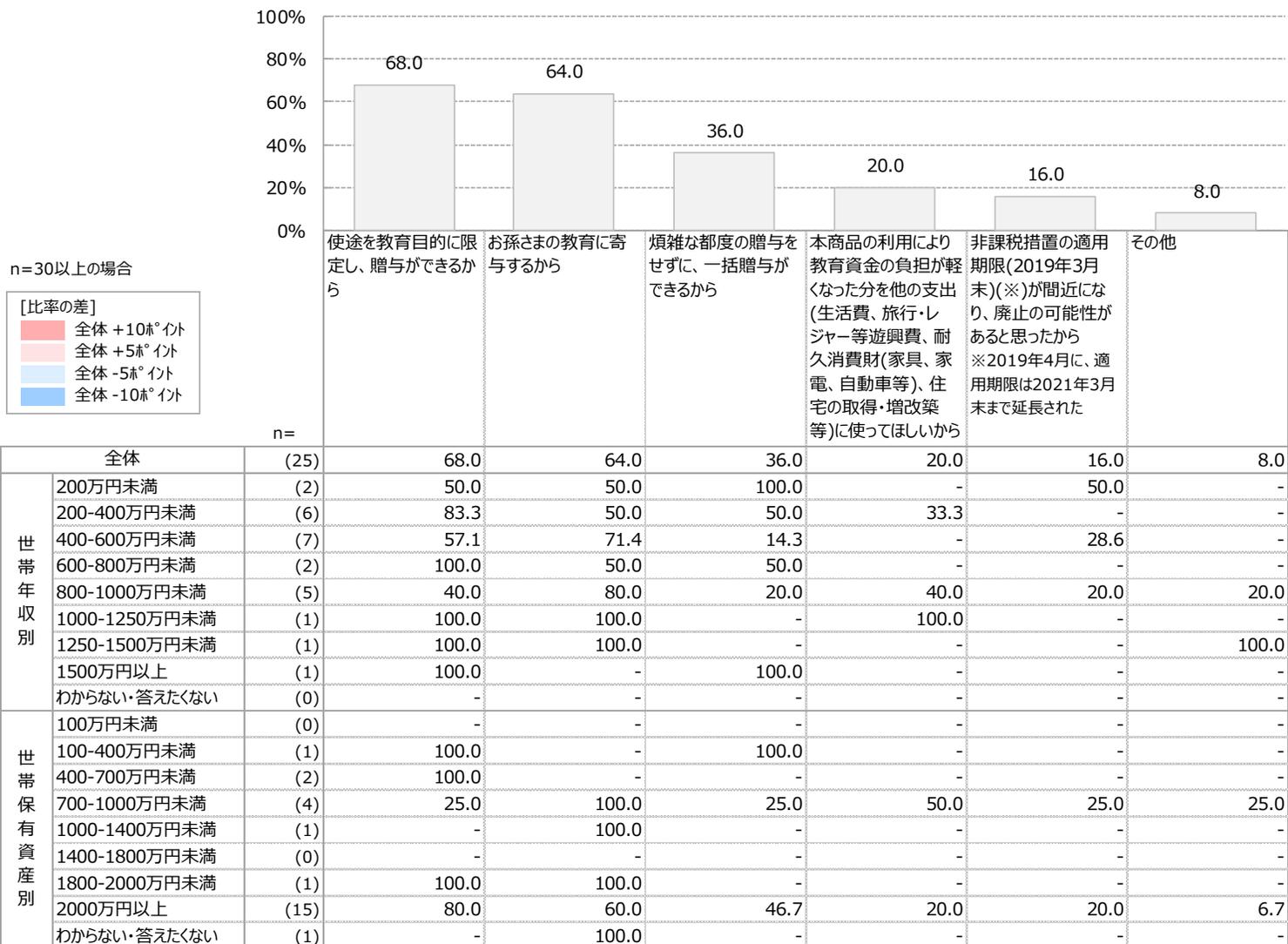
1%未満のスコアは非表示

教育資金贈与信託の利用理由

Q8 あなたがこのサービスを利用した理由をお答えください。(いくつでも)

MA

※「教育資金贈与信託」利用経験者ベース



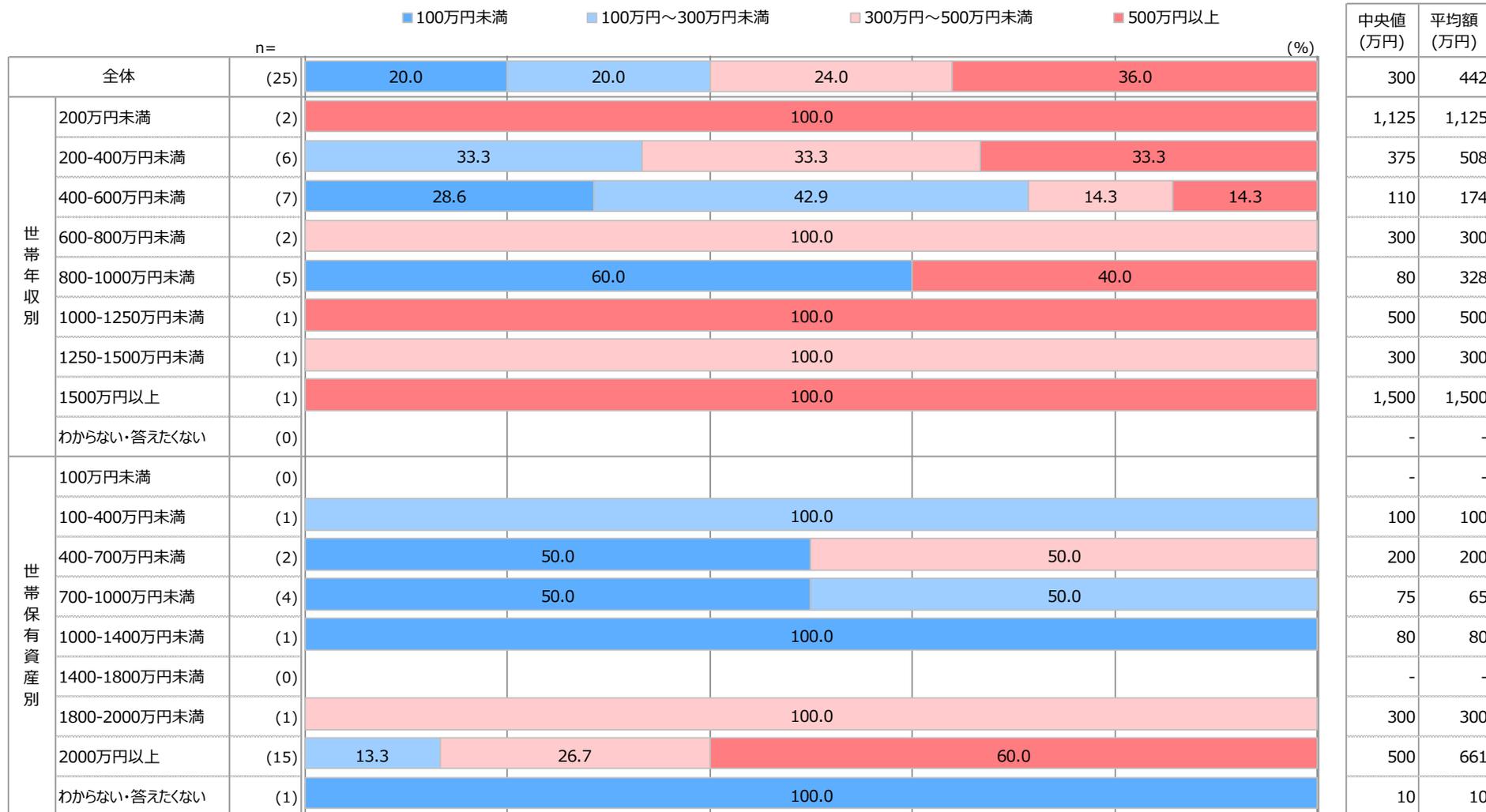
※全体スコアの降順にソート

教育資金贈与信託の利用金額

Q9 あなたがこのサービスを利用した際、どのくらいの金額を援助しましたか。サービスの内容を確認されたい場合は下記をクリックしてください。【お孫さま1人あたり【 】万円】

SA

※「教育資金贈与信託」利用経験者ベース



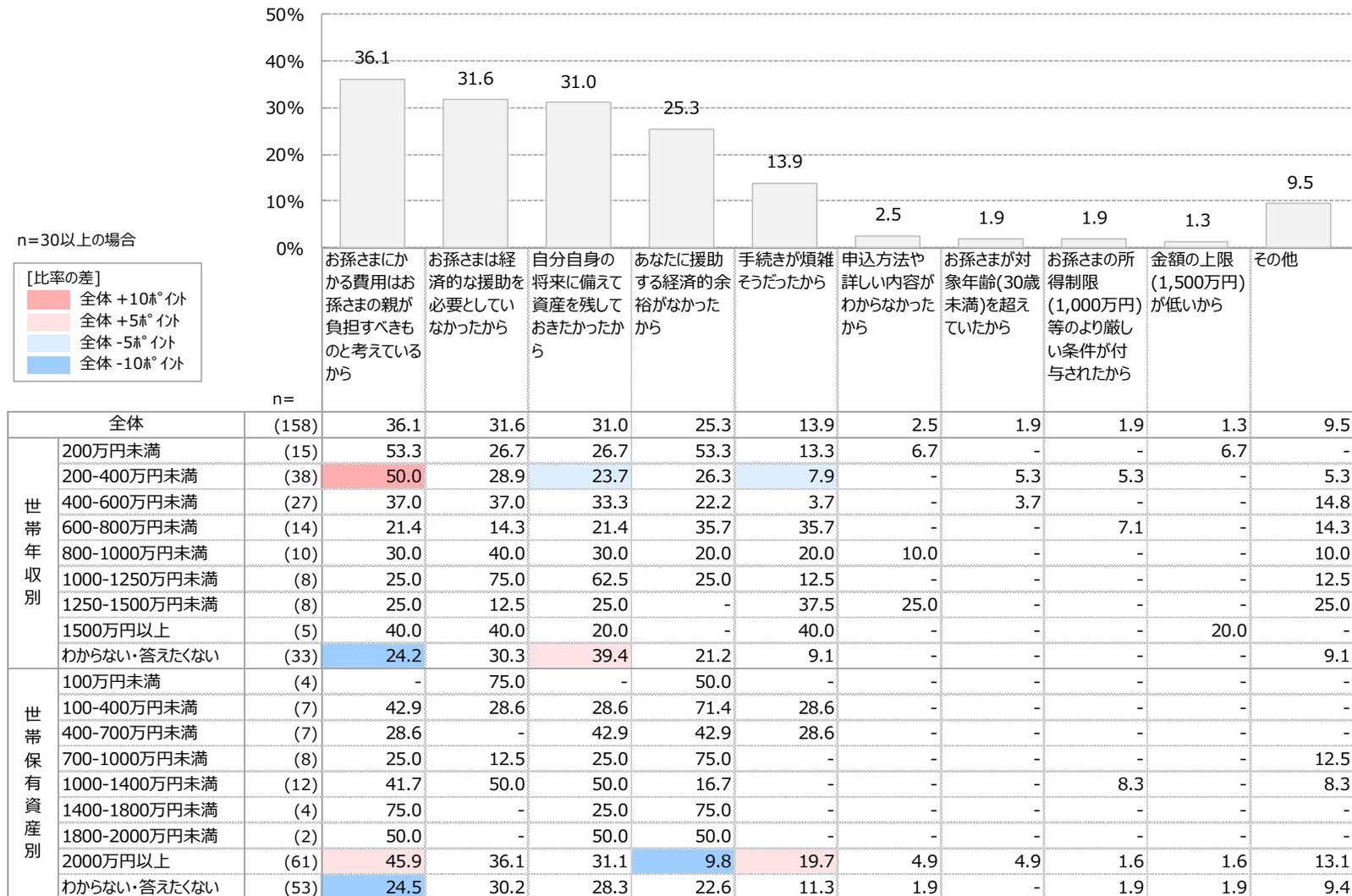
1%未満のスコアは非表示

教育資金贈与信託の非利用理由

Q10 あなたがこのサービスを利用しなかった理由をお答えください。(いくつでも)

MA

※「教育資金贈与信託」詳細認知 かつ 非利用者ベース

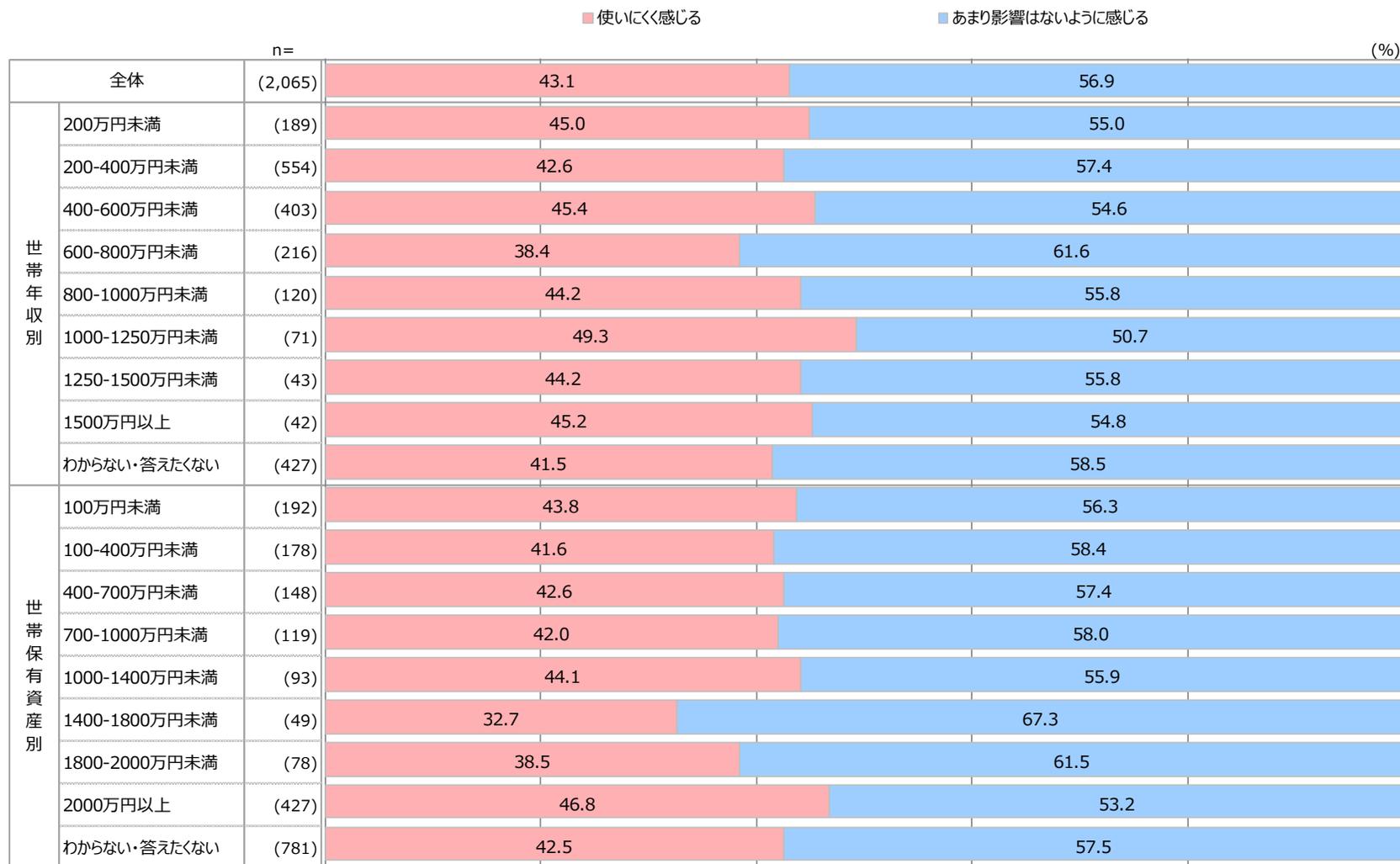


※全体スコアの降順にソート

親の世帯年収まで年収制限が拡大したときの意識

Q11 このサービスの利用にはお孫さまの所得制限がありますが、もしお孫さまの親の世帯年収に制限が課された場合、どのように感じますか。(ひとつだけ)

SA

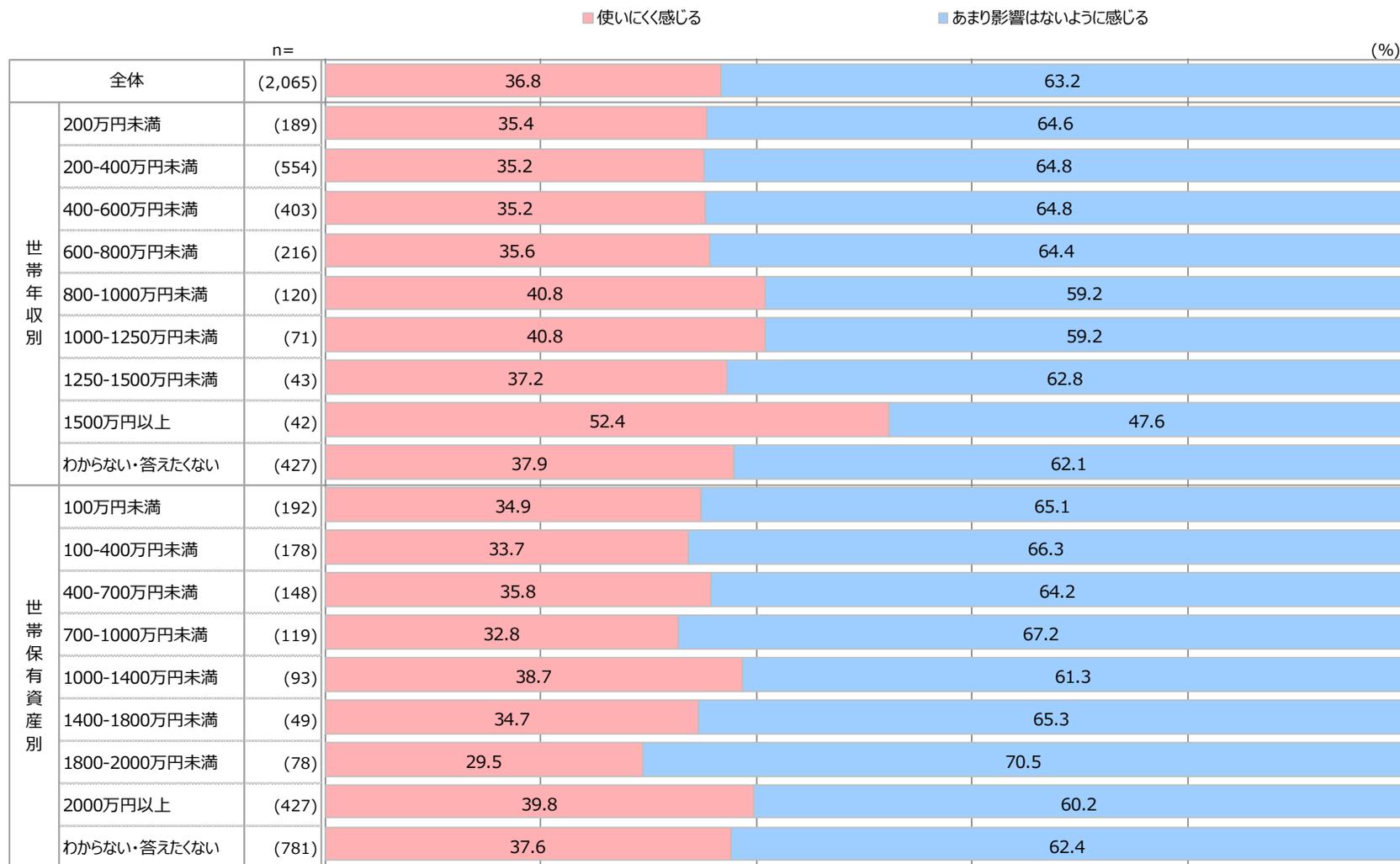


1%未満のスコアは非表示

H31法改正による、23歳以上の孫への資金使途制限に対する意識

Q12 平成31年度の改正で、贈与を受けるお孫さまが23歳以上の場合、本商品の資金使途は【1】学校等に関連する費用（授業料、留学渡航費等）に係る支払い、【2】教育訓練の受講に係る支払いに限定されました。これについてどうお考えですか。（ひとつだけ）

SA



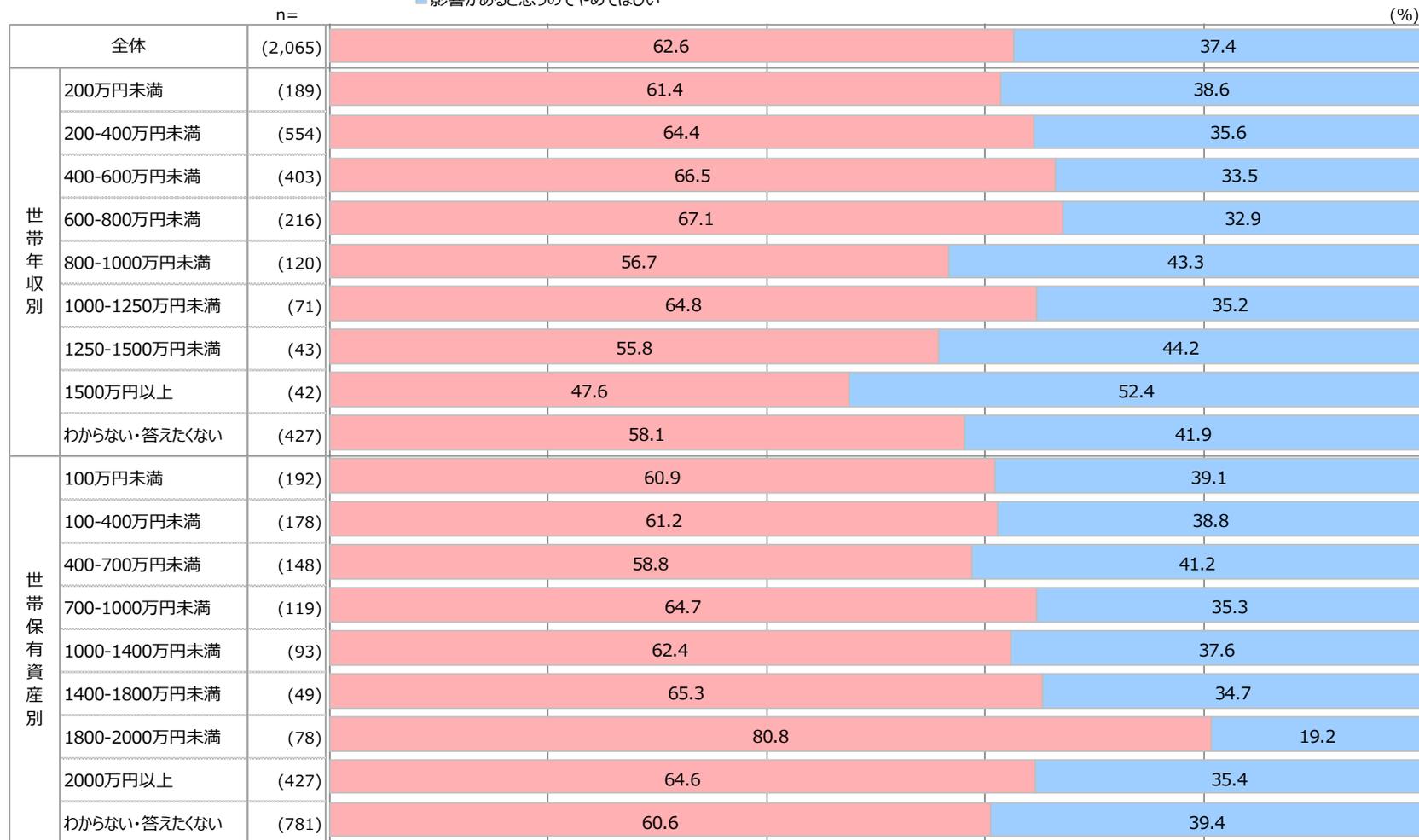
1%未満のスコアは非表示

23歳未満も制限等、資金使途制限が更に拡大したときの意識

Q13 平成31年度の改正で、贈与を受けるお孫さまが23歳以上の場合、本商品の資金使途は【1】学校等に関連する費用（授業料、留学渡航費等）に係る支払い、【2】教育訓練の受講に係る支払い、に限定されました。このような資金使途の限定が、23歳未満まで拡大等、さらに制限されるとしたらどうお考えですか。（ひとつだけ）

SA

- 学校等に関する費用（授業料、留学渡航費等）に係る支払い、教育訓練の受講に係る支払いにしか使わないと思うので、問題ない
- 影響があると思うのでやめてほしい



1%未満のスコアは非表示

教育資金贈与信託の今後利用意向

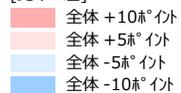
Q14 あなたは、お孫さまのためにこのサービスを利用してみたいと思いませんか。(ひとつだけ)

SA

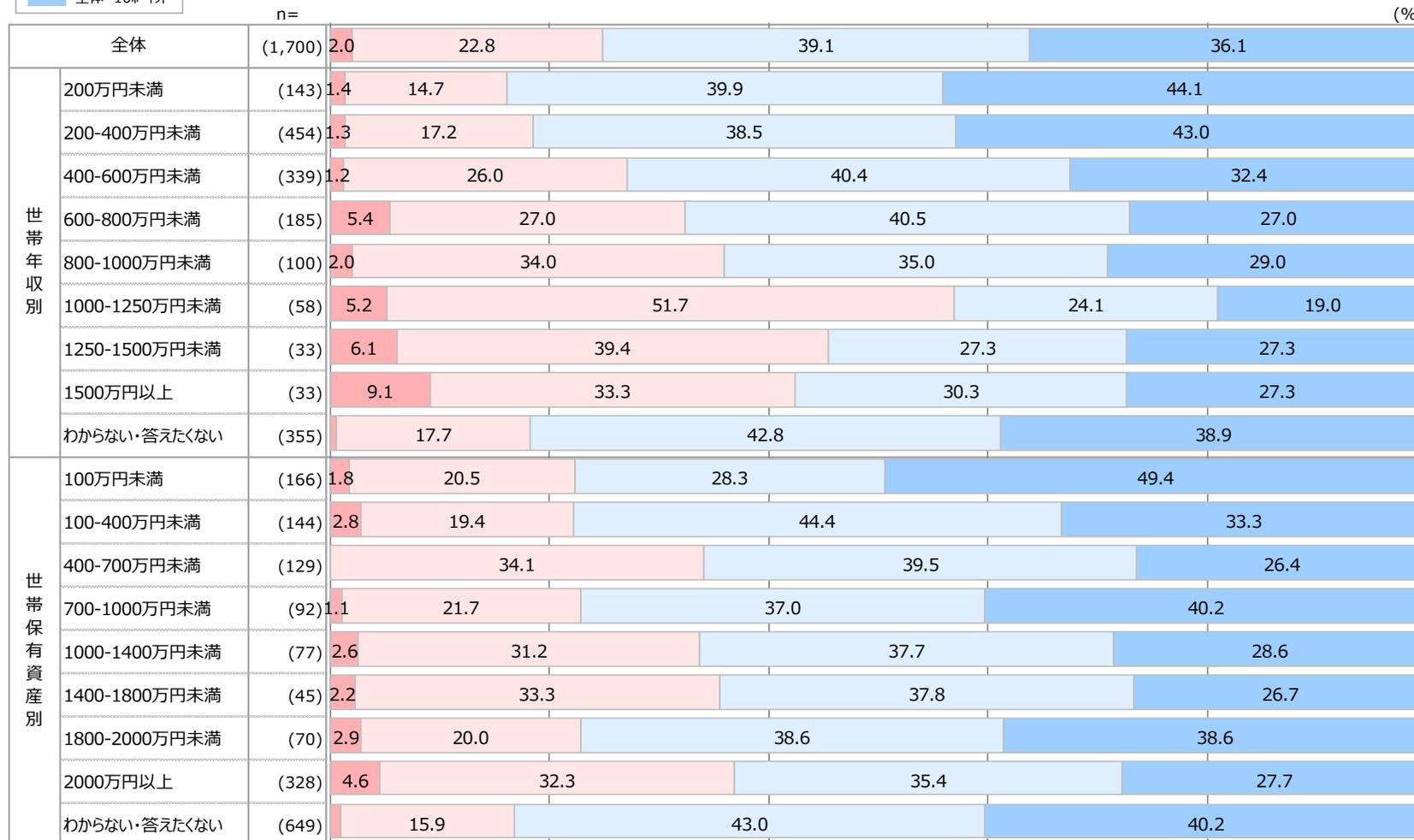
n=30以上の場合

※「教育資金贈与信託」利用可能者ベース

[比率の差]



■利用してみたい □どちらかといえば利用してみたい □どちらかといえば利用したくない ■利用したくない ■そもそも利用できない(※)



1%未満のスコアは非表示

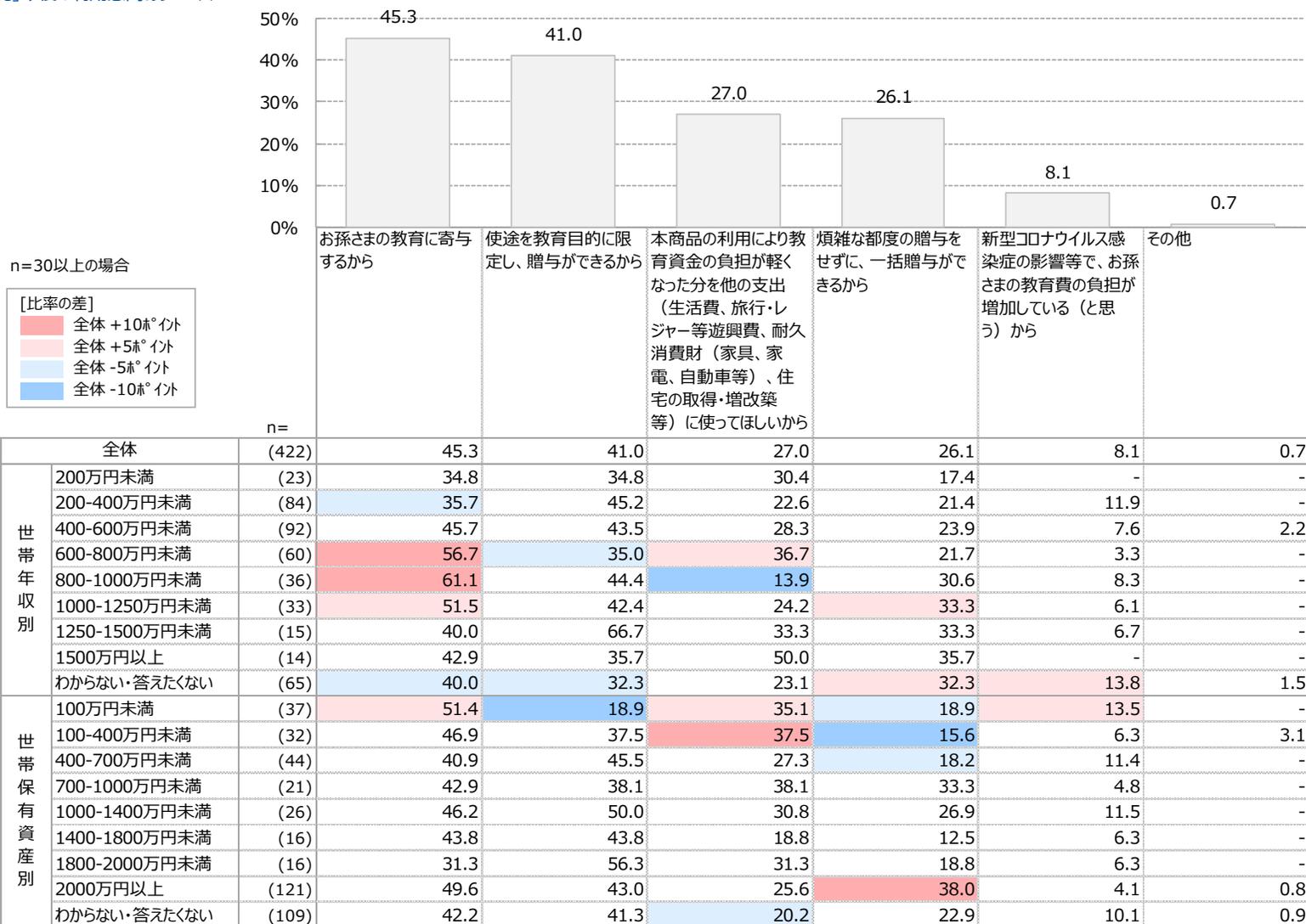
(※お孫さまが対象年齢を超えている等)

教育資金贈与信託の利用意向理由

Q15 あなたがこのサービスを利用してみたいと思った理由をお答えください。(いくつでも)

MA

※「教育資金贈与信託」今後の利用意向ありベース



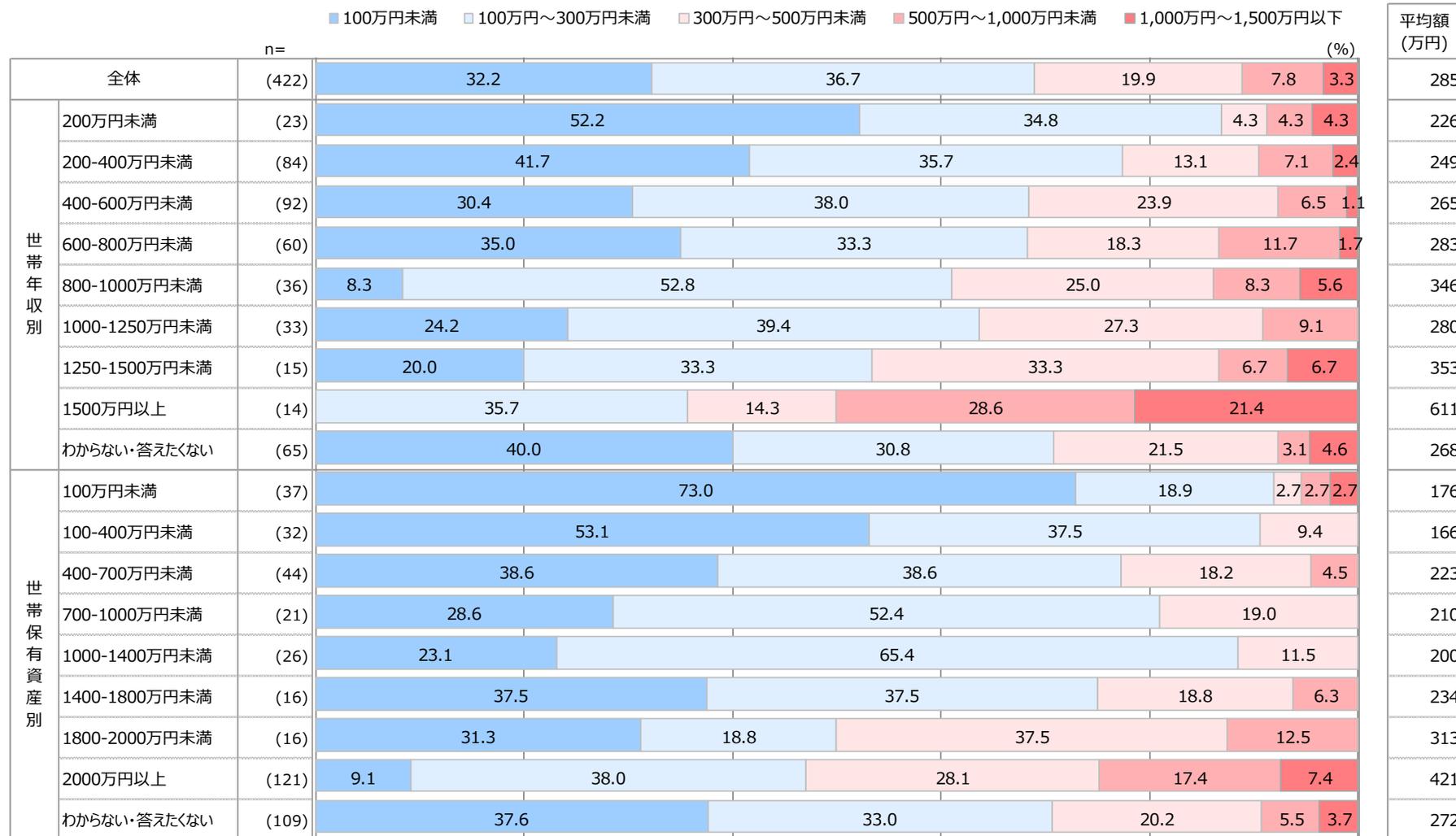
※全体スコアの降順にソート

教育資金贈与信託の援助意向金額

Q16 あなたがこのサービスを利用する場合、どのくらいの金額を援助したいと思いますか。(ひとつだけ)

SA

※「教育資金贈与信託」今後の利用意向ありベース



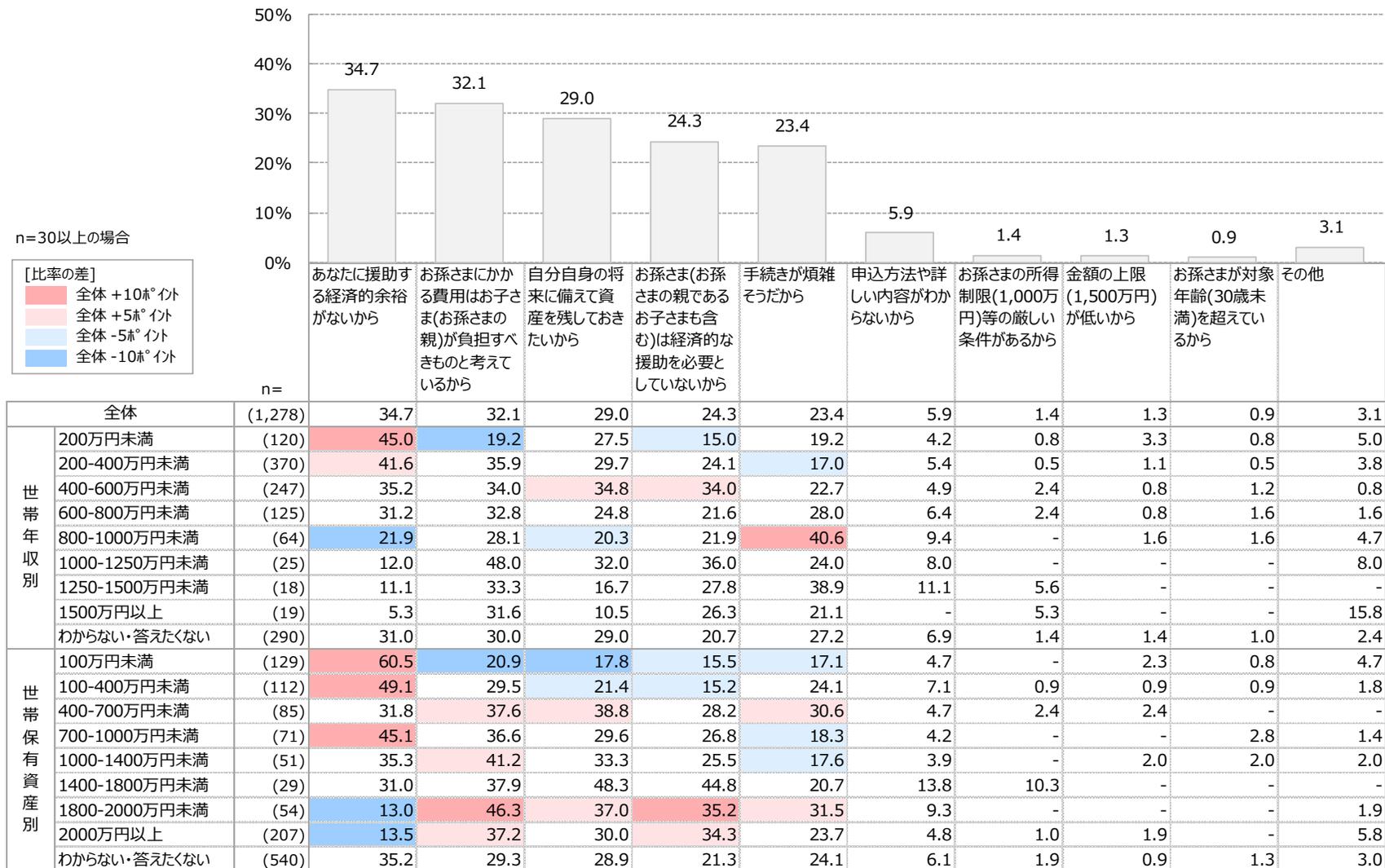
1%未満のスコアは非表示

教育資金贈与信託の非利用意向理由

Q17 あなたがこのサービスを利用してみたいと思わない理由をお答えください。(いくつでも)

MA

※「教育資金贈与信託」今後の利用意向なしベース



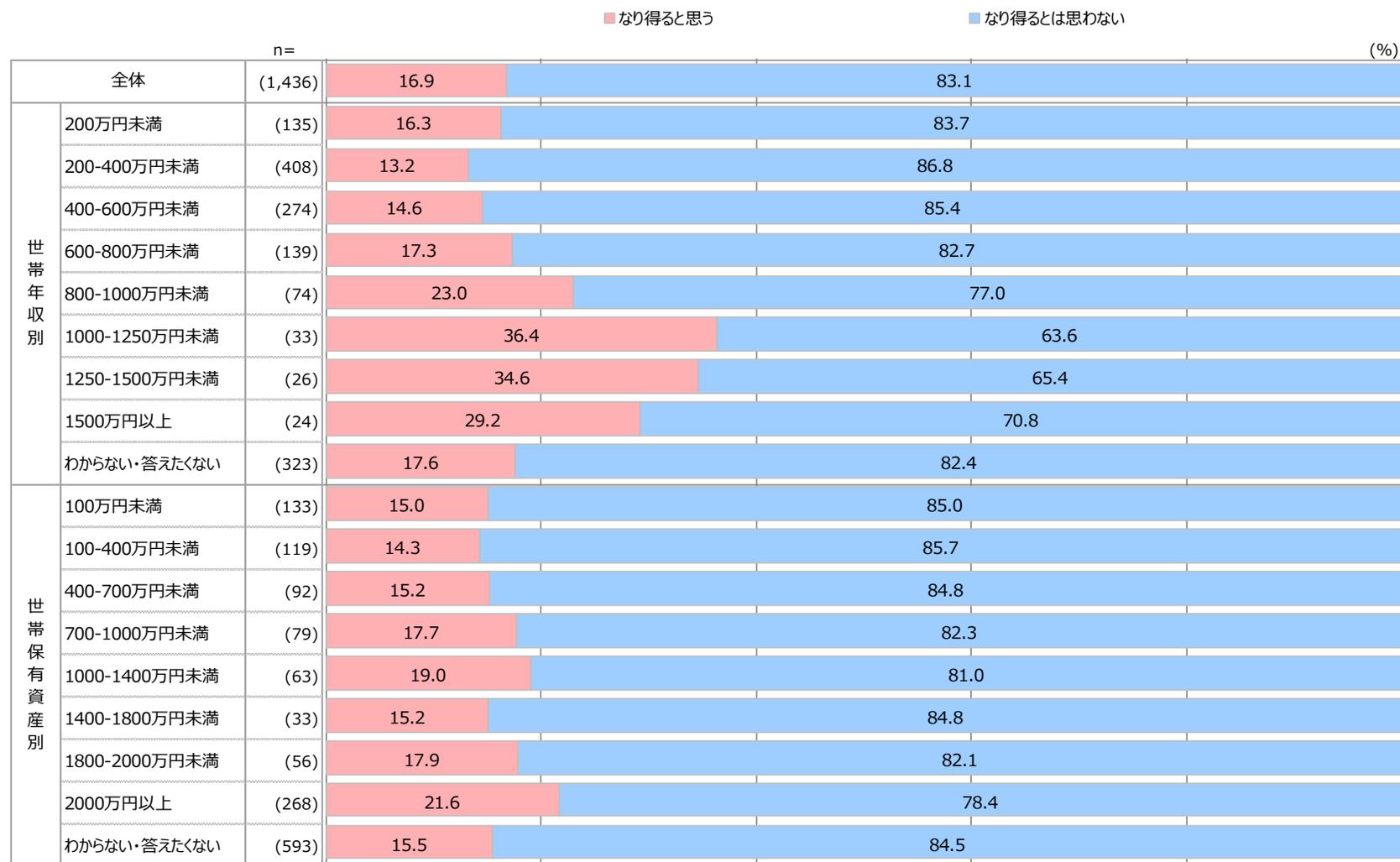
※全体スコアの降順にソート

ライフステージ変更時の教育資金贈与信託利用

Q18 あなたやお子さま・お孫さまのライフステージが変わった場合、このサービスを利用しようと思うきっかけになり得ると思いますか。(ひとつだけ)

SA

※「教育資金贈与信託」詳細認知&非利用者 または 今後の利用意向なしベース



1%未満のスコアは非表示

教育無償化制度による教育費負担感軽減意識

Q19 上記教育無償化制度により、お孫さまの教育の負担は軽減されていると思いますか。

SA

n=30以上の場合



■ 大いに軽減されている(と思う) ■ 多少は軽減されている(と思う) ■ 対象ではないため、負担がある(と思う) ■ 対象ではなく、負担が大いにある(と思う)

		n=	(%)				軽減され ている	負担があ る
全体		(2,065)	15.9	57.6	18.7	7.7	73.5	26.5
世帯 年 収 別	200万円未満	(189)	15.3	52.9	18.5	13.2	68.3	31.7
	200-400万円未満	(554)	18.4	55.1	19.0	7.6	73.5	26.5
	400-600万円未満	(403)	15.4	64.3	15.1	5.2	79.7	20.3
	600-800万円未満	(216)	14.4	58.8	18.5	8.3	73.1	26.9
	800-1000万円未満	(120)	19.2	53.3	19.2	8.3	72.5	27.5
	1000-1250万円未満	(71)	18.3	64.8	11.3	5.6	83.1	16.9
	1250-1500万円未満	(43)	18.6	60.5	14.0	7.0	79.1	20.9
	1500万円以上	(42)	14.3	54.8	23.8	7.1	69.0	31.0
	わからない・答えたくない	(427)	12.9	56.0	23.2	8.0	68.9	31.1
世帯 保 有 資 産 別	100万円未満	(192)	16.7	51.6	15.6	16.1	68.2	31.8
	100-400万円未満	(178)	15.7	59.6	14.6	10.1	75.3	24.7
	400-700万円未満	(148)	20.3	56.1	18.9	4.7	76.4	23.6
	700-1000万円未満	(119)	18.5	55.5	18.5	7.6	73.9	26.1
	1000-1400万円未満	(93)	20.4	57.0	18.3	4.3	77.4	22.6
	1400-1800万円未満	(49)	14.3	73.5	6.1	6.1	87.8	12.2
	1800-2000万円未満	(78)	17.9	62.8	15.4	3.8	80.8	19.2
	2000万円以上	(427)	15.9	61.6	16.6	5.9	77.5	22.5
	わからない・答えたくない	(781)	14.0	55.6	22.8	7.7	69.5	30.5

1%未満のスコアは非表示

教育無償化制度の補完となるかどうか

Q20 上記教育無償化制度の補完として、本商品（制度）が有効だと思いますか。

SA

